俠艶一代男（45）

米田華舡作　伊藤幾久藏畫

お手賀の行方（一）

釣瓶落しの秋の陽が内藤駿河の邸の廣大な森に殘映を留めて、あたりにはもう夕闇が濃く迫つてゐる暮六つ近く。

四谷傳馬町通りから鹽町、大木戸の方へ一軒々々に大きな商店を訪れては、行商して居る三人連れ一人は旗本抱への定火消、がえんと呼ばれる仲間風の素肌へ法被一枚を引つかけ、朱をいれた文身が腕から腕、腿へかけて一面のいなせな若者で、肩へ紋の手拭をかけ天秤で紙よりの錢差、山と束にしたのを挑いで、その後からは肩代りの同じがえんが法被姿の草鞋ばき、もう一人は戸毎に御用を利いて歩く小商人風だが、どこか遊人らしい口の利きかたをしてゐた。

「へえ、毎度御贔負を頂きます錢緡買でござせえます。どうかお求めを願ひやす」

今しも家中の番頭、手代、小僧まで總出で、店の取り片づけ、大戸を下ろさうとしてゐる夕暮時の混雑の只中へ、その土間へのつそりと這入つたのは件の小商人風の男で

「貰りもので、お安く致して置きやすよ」

外では、二人のがえんが荷を下した師で、何やら笑ひながら話してゐた。

「錢差かえ？、また買ひましやうよ」と、年配の番頭が面倒臭さうに、大きな眼鏡越し、ジロリと帳場から睨んで對退つた。

「へえ、貰りものです。どうかそんなことをお仰られえで、お買ひ下せえましよ」

「また此度にして頂きましやう」と、素ッ氣ない言葉を投つけた。

「いえ、此度と申しましても、手前どもは御當地が火消區域の旗本お抱のお役割が、お心安だてにお運び致して居りますもので、またいつ來るやら知りませんので……へえ、どうか、お求め下せえましよ」

「いゝえ、家は昨日澤山に錢差は求め[illegible]ましやう」

「まア、さうお仰らずに買つてやつてお呉んなせえ。これさお役割の！」と、その男は裏へ聲をかけて「錢緡を持て來や！」

「へえ」と、外のがえんは待つてましたと計り、穴開きの錢を通す紙よりの十緡を一把とし、十把を一束としたのを、三つか四つほど擔いで、店へ這入つてきて、ジロくと凄い眼で、薄暗くなつた家中を見廻しながら「毎度、有難ふございます」

「これが一束百文に勉強致して留きやす。幾束ほど置いてまゐりませうか？」

「お前さんがた、そ、それは亂暴ではございませんか？幾らお旗下衆がお抱へのお役割さんがたが内職に作つた錢差でも、押し賣りは御法度でございますよ」

がえんがすつくりと立ち上ると恐ろしい權幕で呶鳴り出した。

「な、何だッ？」と、がえんがクルリと袢被の尻を跳ねると、どつかり上り框へ腰を下し、首だけ後へ捻つて「やいッ！今のことを、もう一度と言つて見やッ！」

「へえ、何も手前は、お前さんがたのお氣に觸るやうなことを……」

「矢鱈しいやいッ！唐變木奴ッ！俺ッちによくも押し賣りの汚名をつけやアがつたな。いつ手前は押し賣りされた。いやさいつ手前は俺ッちの錢差を無理強に買つたんだ？がえんの飯を喰つてる俺ッちが、手前なんかからそんな汚名を着せられて、この儘、仲間へ顔向けが出來るものか？さアその黒白を明らかにしてみせてくれ！事と場合によつちやア、屋根の上へぺんぺん草を生やしてくれるから覺悟をしやアがれ！」

賑たれ口の啖呵を、あたり構はずにわめき立てた。

「そ、それは飛んでもない言ひ懸りと申すものでございます」

番頭は、相手が惡いので、顏色を變へ、しどろもどろな返辭をした。

「言ひがゝり？野郎ッ！出ろッ！こゝへ出て來いッ！もう勘忍がな[illegible]

キネマと演藝

春日宗三郎師 久振りで來連

大阪の長唄宗家杵屋勝吉改め春日宗三郎師は長唄美風會の招聘に應じ去る一日入港の定期船で來連したが、師は大正九年の名人會以來の久し振りの來演で別項の如く來る六、七日の二日間大連劇場に於ける吉住小之藏、芳村伊十之助兩師の合同演奏會に特別出演し八日は營口にて演奏會を催し都合によつては奉天に立寄り歸阪の豫定であるが、二日夜六時半から美風會主催にて電氣遊園登瀛閣にて歡迎會を開き春日師夫妻を主賓に小之藏、伊十之助兩師門下及び同好者及び杵屋六寒三郎、田中傳兵衛兩師も出席し吉住師の歡迎の辭に對し春日師を代理して春日後援末廣會幹事長橋本勝巳氏が謝辭を述べ頗る盛會であつた

愈よ今晩限り 須磨浦風と大石出世の一軸 大劇奈良丸の讀み物

初日以來連夜大連劇場に於て好評を博してゐる本社販賣主催滿鐵勞務課後援の一若改め三代目吉田奈良丸一門の浪曲大會はいよく今晩限りとなり浪曲ファンより名殘を惜まれてゐるが、奈良丸も連日の好評に酬ゆるため今夜の讀物を變更して大衆向きのものとなし前席「須磨浦風」後席「大石出世の一軸」の長講二席を以て充分に浪曲の妙味を發揮することゝなり非常な期待を以て迎へられてゐるが今夜の主なる讀み物は左の如くである

▲日露戰爭　奈良右衛門
▲加賀の内亂　爲右衛門
▲須磨浦風大石出世の一軸　奈良丸

長唄美風會 演奏會 春日師が出演

當地長唄界の向上發展を期して吉住小之藏師と芳村伊十之助氏が提携して今回創立した長唄美風會にては既報の如く大阪より杵屋勝吉改め宗家春日宗三郎師が來連したのを機會に長唄美風會主催にて來る六、七日兩夜七時より大連劇場に於て合同演奏會を催すが、兩夜の番組は左の如くで特に鳴物師匠の田中傳兵衛氏も第一日は「越後獅子」第二日は「吉原雀」に賛助出演することゝなつた、また宗家の三味線の妙技は既に斯界に定評あるところで佐吉師以來の聽物として大いに期待されてゐる、會費は一圓五十錢

六日番組

一、寒山拾得　唄安藤乃保留、清水恭二、三味線中村愛子、芳村靜江
二、綱館　唄吉住小之藏、清水恭二、三味線春日宗三郎、春日ゆき
三、多摩川　唄芳村伊十之助、安藤乃保留、三味線春日宗三郎、春日ゆき
四、越後獅子　唄吉住小之藏、清水恭二、芳村伊十之助、三味線春日宗三郎、春日ゆき、芳村靜江

七日番組

一、汐汲　唄清水恭二、安藤乃保留、三味線中村愛子、芳村靜江
二、秋色種　唄芳村伊十之助、吉住小之藏、三味線春日ゆき、上調子春日宗三郎
三、靱猿　唄吉住小之藏、安藤乃保留、清水恭二、三味線春日宗三郎、春日ゆき、中村愛子
四、吉原雀　唄芳村伊十之助、安藤乃保留、吉住小之藏、三味線春日宗三郎、春日ゆき、芳村靜江

噂話

遠山滿の一黨、御大が口八丁手八丁だから座員も負けてゐず何でも御座れで▲小劇場のメンバーは僅か十七名であるが舞臺を見てくれと力み返つてゐる▲ところで二の替りに上演豫定の「靜ケ浦の仇波」を脚色した志野辛吉氏に電話で頻りにおどかしつけて來るとのこと▲やらぬ前から興行價値がついて絲ひ志野辛吉氏「俺はもう知らんぞ」▲目下來連中の長唄宗家春日宗三郎師匠が惡事を働いて遁つたと噂されてゐるが▲御本尊一向身に覺えがなく火のないところに煙が立たぬと調べて見ると▲春日宗四郎と宗三郎の一つ違ひの間違ひで「うつかり名前もつけられぬ」

ペーブメント

生ビールから秋の味覺はカクテルへ、大連でもバーからバーへ飲み歩ける時代がやつと黎明の鐘をつげてゐる、いま大連だけに六つのバーが生れた、一番古いのが磐城町のアカデミ、それから浪速町裏の吉永、連鎖商店に桃山をラッキー、常盤橋のエイワン、最も新しいのが伊勢町の陶雅堂の跡に出來た松本である、そして今人氣は松本に集つてゐるやうである。こゝが六つのバーのうちで最も一番シークだしセットも贅澤ですべてが氣持よく從つて飲心地も爽やかであるらしい。この斬新の松本に對して吉永とエイワンが馴染客で賑ひこの三つが話題の中心になつてゐる。一番安いのは吉永が通相場らしくエイワンは主人が自慢のシエーカーをふるひ松本はサービスが第一でエイワンと松本は上海が評判、酒の種類は古いだけに吉永が第一でエイワンと松本は上海物をつかはぬのが自慢。チーズはエイワンだけがナイフをつけて出してゐる。アカデミは最近忘れられた形で桃山はモダムが人氣をよびラッキーは殆どクロネロカフエーにゐた女給を置きバーといふより大連式のカフエーで時々レコードをかけて女給とお客がダンスをしてゐる。

ラヂオ

大連 JQAK　九月四日午後七時

▲童話「雨乞ひ」山田健二
▲謠曲「楊貴妃」梅若流渡邊三作
▲清元「助六」淨瑠璃清元延榮龍、三味線作野夫人
▲尺八「霜夜」一部森介山、二部磯田汐山、三部貝通丸師山
▲支那唄「打花鼓」唱馮彼翠、師付王振泉
▲職業紹介事項

東京 JOAK　九月四日午後六時二十五分

▲講演（一）義人田中正造の一生と其事績　栗原彦三郎（二）田中正造の人物と遺德　芝貞吉
▲義人報恩和讃　唄荻原リキ子、石原ナカ子、太田トメ子、木村イチ子、尺八高田久慈、笛奥澤ヨシエ、鐘永井瀧子
▲小唄（一）士農工商（二）茶の科（三）繪日傘（四）通覧（五）水鳥（六）濱風　唄小唄幸兵衛、三味線同幸子、同同幸竹葉
▲常磐津「心中浮名の鮫鞘」淨瑠璃常磐津三登勢太夫、同一尾太夫、三味線同菊丸、上調子同三之助
▲連續講談「磯畑伴藏」太田貞助

第二十一回 滿日勝繼碁戰

（高本氏二回）（勝三回目）
二段 大磯義勇氏　四子 高本吉郎氏

白	黒
○六一ト十二	●六二ハ八
○六三リ三	●六四ト九
○六五ホ二	●六六チ三
○六七ハ三	●六八リ二
○六九ヌ三	●七〇ヌ二
○七一ル三	●七二レ六
○七三タ六	●七四タ五
○七五レ七	●七六ソ六
○七七カ六	●七八ハ十二
○七九ロ十二	●八〇ハ十四

▲篠原四段講評　黒六十四は白（い）に預け白（ろ）黒（は）白（に）黒六八に打つ方實利なり、黒六六は（ほ）に尖み白（へ）黒（と）白（ち）黒六六白（り）黒（い）白六九黒（ぬ）に打つて十分ならん、黒七二は（る）に打ち白（を）黒（わ）白（か）黒（よ）白（た）黒（れ）白（そ）白（ほ）と打たせ黒（つ）に打つべし

—【四】—

奈良丸浪曲大會
讀者優待割引券
この券持參者に限り特等一圓七十錢　一等一圓四十錢　二等一圓
主催 滿洲日報販賣部

滿洲日報
三井物産株式會社大連支店
業務　物品販賣業、問屋業、運送業、保險並に船舶代理業、造船業及附帯事業
滿洲出張所所在地　牛莊、安東縣、奉天、長春、哈爾賓
大連市山縣通百八十二番地
電話（代表）七〇一一番
取扱品目
資本金　壹億圓（全額拂込濟）
積立金　壹億壹千壹百五拾萬圓
本店　橫濱市
橫濱正金銀行大連支店
亞鉛引平板
亞鉛引浪板
登録商標
地球獅子牌
株式會社　大信洋行
本店　大連市監部通四十六番地
電話代表六一四一番
營業課目
支店出張所
樽は吉野の甲付樽よ
酒は伏見の高級銘酒
呑めや愛酒家
エイクンを！
大連　辻利ビル内
〆切迫る
今ス久書店へ申込あれ！
將棋大全集
空前絶後の大特典付
豫約募集
果然！申込殺到す
特典の内容
全國將棋大會
段級認定證授與
大賞品を贈呈！
名人巨匠の責任執筆になる棋界空前の壓倒的大述著！
初心手ほどき
第一回配本
定跡篇
實戰篇
木村義雄實戰集
内容見本
實物書店で御覧下さい
申込金不要！（〆切九月五日）
東京・神田・錦町一丁目
誠文堂
子供に良い歯磨
子供の時から
お口の掃除が肝腎—ライオン歯磨で丁寧に歯を磨きませう
ライオン歯磨
新製　中形チューブ入
ライオン歯磨本舗　小林商店
金華號本店
柴田醫院
紫檀細工
今井醫院
工事の御用命は
高石商會
泰昌洋行
大連商業銀行
一般銀行業務確實に御取扱可申候
國際運輸
最新刊

家庭・學藝

私——と 老虎灘街道（上）

……十九年前の思ひ出……

千隈次郎

アカシヤの並木、アスファルトの自動車道路、複線の電車線路、それを眞中に挾んで、逢坂町から平和臺迄、約一里に亘つて、山と云はず、谷と云はず、モダーンな住宅が建ち並び、宛然スキツツルを偲ばせる樣な、グレート大連の南部郊外、老虎灘街道の發展は、實にすばらしいもので、十四年間の奥地生活から解放されて、今度再び大連に舞ひ戻つた赤毛布の私にとつては、異常の驚異であり、且又十九年前、此の街道に、多少の因縁を持つた關係で、當時の有樣を知つて居る私にとつては、殊更に感慨無量のものがある。

私は今、現在のモダーン老虎灘街道を標準として、僅かに支那の田舍路に過ぎなかつた老虎灘街道の、十九年前の姿を、朧氣な記憶を辿り、私と老虎灘との、因縁を偲んで見たいと思ふのである。

思ひ起す、私が二十七歳で、滿鐵地方課の臨時傭として、日給一圓三十錢也を頂戴して居つた、明治四十四年の夏、滿鐵で老虎灘街道に、電鐵を敷設する事となつて電氣作業所から、線路用地の中、民有に屬する部分の買收方を、地方課に依賴して來た……此の電車は大部分は、官有地たる街道上を走る計畫であつた、

結局私に主として此の仕事に當れと云ふ命令が出て、私は毎日カーキー色の夏服に卷脚絆……何のことはない○○組現場監督と云つた風體よろしく、滿鐵の自動車を飛ばせて、續々と此の街道を往復したものであつた。

擇々其當時の老虎灘街道といへば、逢坂町から老虎灘迄、十間か十五間幅の道路をつけたといふ名ばかりで、路盤には凹凸があり、處々に石が頭を出して居て、僅かに馬車と荷物の往復が出來る程度で――尤も當時は大連に自動車など、藥にもしたくも無かつたが――然も風でも吹かうものなら、乾き切つた道路は、黄砂を捲き揚げ、顔を上げることも出來なかつた。

その道路の兩側には、楡や楊柳の林と、支那部落とが點在して、日本人の住宅と云へば、僅かに臨硤温泉と、二三の農園牧場があるに過ぎなかつた。

逢坂町の入口を過ぎると、その附近には日本人の住宅は勿論商賈家などは一軒もなく、現今安居アパートと云ふのが建築されつゝある邊から櫻花臺にかけて、極狹い切通しで、それを通り抜けると、街道はかなり急勾配で、今の臨硤温泉停留場の邊まで、一直線に下つたものであつた。

此の勾配をコースターをかけ、自轉車のサドルに尻をグンぐくぶち當てながら下ると、今ある臨硤温泉院の少し南の方に、元の臨硤温泉が、實に身窄らしい、殺風景な姿で建つて居つて、逢坂町の別嬪さん達が、商賈氣離れて好いたお客と鬻間此處で密會するのだ、と云ふ樣な噂があつた、之が多分現在の初音町の派出所邊ではなかつたらうか。

街道の左手火葬場入口の支那部落は、街道で一番初めにぶつかる支那部落として、ハツキリ其存在を覺えて居るが、靑柳農園が其當時から、あつたか如何かは、どうも思ひ出せない。

それから又少し南に下ると右側に王家屯と云ふ支那部落があつて其前を通ると、其東にあるロシヤ人墓地の、塔の頭がよく見えた。之が現在の臨硤温泉の南に續いてゐる支那部落である。

此邊から道路に勾配が無くなつてゐる。又少し南に行くと、右側に楡か何かの林があつて、其下に小川が流れてあつた。此處を私の休憩所と定め、暑い日盛りを、いつも自轉車を路傍に抛り出して、木陰に這入つて、晝寢をしたもので、其地點は確に、現在の光風臺の停留場附近と考へる。

それから今の桃源臺停留場附近に行くと、路が二股に分れ、右が傅家庄街道で、左が老虎灘街道であつた……其頃傅家庄なんかを口にする日本人は殆ど無かつた。

干渉と放任

……三……

太郎さんは長い間の望みであつた自轉車も買つて貰へず、お山を作つたり、橋をかけたり、トンネルや汽車道を作つて遊ばうと樂しみにしてゐた砂場も作つて貰へなかつた。そして大きな聲で學校の本を讀んでゐるとお母さんの機嫌がよく、外で遊んで歸るといつも叱られた。

三吉のお母さんは三吉が學校へ行きさへすれば賢くなると思ひ通知簿などはてんで見やうとしなかつた、從つて夏休みになつてまだ一度もランドセルを開けたことがなく、毎日お母さんにせがんで買つて貰つた自轉車に乘つて遊んでゐた。

時速百二十哩のレールプレーン

尖端的な交通機關

文化が進み交通の繁劇が次第に加はるにつれ樣々な交通機關が生れて來る、時代精神はもう旅客飛行機などは珍しがらない、そこで交通機關の尖端的なものは何であるかといふと、それはグラスゴーの近郊に架設されたレールプレーンであらう、此のレールプレーンは寫眞に見るやうに砲彈形をして居り前後に航空機などゝ同樣なプロペラーがあつて、動力には發動機が用ひられてゐる、時速は百二十哩といふ素晴らしいスピードだ、此のレールプレーンは飛行機のやうな危險がないので附近の住民からは大いに歡迎されてゐる、將來はニューヨークやベルリンの高架鐵道のやうに最高交通機關として他の交通機關を壓倒するであらうと言はれてゐる、（寫眞の上は進行中のレールプレーン、下はレールプレーンの内部で背後に立つてゐるのは發明者ジー・ベニー氏である）

ニューヨークのプロフィール

世界一の人口密度で 死亡率の尠いこと世界一

▼▼…一九三〇年調査によるニューヨーク市の人口は一千百萬五千六十九人。右は市廳を中心として四十哩以内の地域における人口を指すもので一九二〇年のそれと比較し約二百三十九萬五千三百六十一人即ち二割七分八厘の増加を示してゐる。その地域は合計三千七百六十七平方哩で一平方哩以内における人口の密度平均二萬三千二百六十一人、其内目抜のマンハツタンが筆頭の八萬四千三百八十三人である。英京ロンドンは人口の密度一平方哩につき一萬一千二百五十人、シカゴ市は一萬六千二百十九人だからその密度に於てもニューヨークが世界の大都市を牛耳つてゐるワケだ。

▼▼…而も死亡率に於てはシカゴが昨年ニューヨークのそれよりも少し低かつたが三年間を平均すると人口千人につきシカゴが十一人五、ニューヨークが十一人二の割合でニューヨークの方が低いことになる。而もニューヨークの總人口は米國に於ける爾餘の七大都市シカゴ、ヒラデルヒア、デトロイト、ロスアンゼルス、クリーヴランド、セントルイス及びバルチモアの人口を合計したよりも多くまたコンネクチカツト、ワシントン、ネブラスカ、コロラド、メイン、ロードアイランド、ユータ、ニュー・ハムプシア、ニュー・メキシコ、ヴアーモントデラウエア及ネヴアダの十二州とコロムビア區との合計人口を凌ぐ勢ひである。

▼▼…實際ニューヨーク市の人口膨脹率は驚くべきもので一七九〇年第一回人口調査に依る米國總人口の三倍、また百年前即ち一八三〇年の米國總人口よりも百萬人多いだけだとは人口の都市集中が米國に於てもなかく猛烈でニューヨーク市をして土一升金一升の土地たらしめた所以を物語るものに外ならないのである。

夜の神祕（二）

夜を怖れる子供への教訓

ルイズハスチングス　春路譯

「神祕なものつてどんなもの、そしてどこにあるの？」

アーサーはお母さんの顔を見上げました。

「道はたでちよいとしやがんでごらんなさい、さうすると何か面白いものが見つかるかも知れませんよ」

お母さんは月の光に淡く照し出された道ばたを指さしました、靜かな夜です、そこには唯一つ生物すら棲んで居ないやうな靜けさです。

お母さんは何かを路傍に見出してアーサーに言ひました、

「そら、そら、お前のすぐ前の地面の上に何か灰色のものが居ますよ、動くかどうか見てゐてごらん」

「お母さん、これは石ぢやありませんか、石がどうして動くものですか」

アーサーは笑ひました、しかしその石はノコノコ歩き出しました

「オヤー、動いた、動いた、石の動くのを僕は初めて見た、だけど變だナア、お母さん石もやつぱり生きてるの？」

アーサーは不思議さうに動く石を眺めました、

「それはヒキガヘルですよ、ヒキガヘルは夜になると食べものをさがしにノコノコ出て來るのです」

お母さんは説明しました、

「これが、あの、太つちよで怠け者で、お目々をいつもパチパチさせるヒキガヘルなの？」

アーサーは不思議さうにヒキガヘルの方へ顔を近づけました、

お父さんは笑ひながら

「なるほどさうだ、だが、ヒキガヘルは決して怠け者ぢやない、からだが肥えてゐるのはよく働くからだ、ヒキガヘルは日中は穴の中にかくれてゐるが、夜になるとノコノコ出て來て夜通しいろくの蟲を捕へて食べるのだ」

「ヒキガヘルはどうして蟲を捕るの？」

アーサーはヒキガヘルから目を離しません、

「じつと座つて蟲の近づいて來るのを根氣よく待つてゐるのだ、忍耐といふ言葉があるがそれはヒキガヘルのやうなのを言ふのだ、ヒキガヘルは鋭い目を持つてゐて蟲が近づいて來ると舌をのばして蟲を捕へるのだが、それは目に見えないやうな速さだ、そして決して死んだ蟲は食べない」

お父さんは説明してきかせました、

酒無し日に酒を飲む禁酒者

◇◇生活の斷片◇◇

島村美樹夫

九月一日の晩だ、一寸用事があつてKの家を訪れると、數年來禁酒してゐる筈のKが食卓に銚子を据えてチビリくとやつてゐる、

「オヤー、これはどうしたんだい？」

宴會に出ても決して盃を口にやらうともしないKが晩酌をやつてゐる事は私に取つて少くとも大なる驚異であつた

「ナーニ、今日は酒なし日ださうだから何年振りかで飲んで見たところさ、まあ一杯おあがり」

Kは私に盃をさした、

「どうしたんだい、どうも少し變だね、あれほどの禁酒家の君が、しかも酒ナシ日に酒を飲むなんておかしいね」

私は訊かざるを得なかつた、

私の怪訝な顔をくすぐつたさうに見てゐたKの妻君が横から

「それは、かうなんです、今日會社に行くと、あのノンダクレの主任が何とか會の酒ナシ日のビラをみんなに配つたんださうですよ、ところが宅はそのビラを見たら三四年來止めてゐる酒が急に飲みたくなつたんですつて、それでね、會社から歸ると酒屋に電話をかけるつて言ふんでせう、お客さまでもあるのか知らと思つたら、僕が飲むんだつて言ふんですもの、びつくりしましたわ」

妻君は大袈裟に目玉を大きくして笑ひながらポッと赤くなつたKの顔に視線を投げた、

Kは頻りに私に酒をつぎながら

「ね、S君、僕は元來酒好きなんだ、恐らくオヤヂの遺傳だらうと思ふが君も知つてゐるやうに一時は四合や五合の酒は平氣で飲んだ今でもかうして酒を飲むとやつぱりうまい、このうまい酒を何故やめたかといふと、それは救世軍の禁酒演説を聽いたからでもなければトキノコエを讀んだからでもない、僕自身が酒を飲んだ結果として酒の害を自覺したからだ」

「君の自覺した酒の害といふのは……？」

「私の痛切に感じたことは酒によつて時間を失ふことと、頭を惡くすることだ、僕はどうも酒を飲むと堪らなく眠くなるんだ、それで晩酌をやると其の夜は讀書も出來なければ仕事も出來ない、讀まうと思つて買つて來た本がいつまでも積まれてゐるぢやないか、讀書の時間を失ふといふことは實に恐ろしいことだ、酒は確に人間を怠け者にする、僕は與へられた人生を怠け者として臺なしにすることは堪へられない苦痛だつた、僕はさう思ふと同時に斷然酒を止めたゞそれだけさ」

「その禁酒家が今日酒を飲みたくなつたのはどうしてだい」

「それは酒の害毒を思ひ出す爲めだ、元來僕は酒が好きなのだから時々飲みたくなる、そして、ともすると酒の害毒に對する自覺が薄らがうとする、ところが今日は酒なしデーださうだから僕は禁酒の實行をより確實にするために酒を飲んで酒の害毒を思ひ出さうとしたわけだ」

「酒の害を思ひ出すのでなくて結果として酒の味が思ひ出されることになりはしないか」

「そりや大丈夫だよ、僕の禁酒は自覺から出發してゐるんだ、其の自覺を更に呼び覺ますために今日酒を飲んで見たのだ、世の中の多くの酒飲みは禁酒への道程として一年に唯一日だけ酒を禁じ、僕は禁酒のために一年に唯一回酒を飲む、妙なコントラストだね」

Kは愉快さうに哄笑して盃をさし出した。

滿日各地版

奉天

今月行はれる各種の競技
運動シーズンの賑ひ

秋冷の絶好な運動シーズンとなり各學校、團體では色々な競技を計畫してゐるが、二日まで決定せる九月中の競技は左の如し

▲奉日社並に我社奉天支社共催全奉天野球大會 十日頃より擧行の筈
▲滿鐵秋季運動大會 十四日グラウンドに於て盛大に開催、但し雨天の際は廿一日に延期
▲州内外對抗教員庭球大會 廿一日午後益濟寮コートに於て擧行
▲全滿小學校聯合運動競技大會 廿四日醫大グラウンドに於て擧行
▲全滿公學堂陸上競技大會 同日擧行
▲全奉天庭球大會 同日益濟寮コートにて擧行
▲全滿庭球大會 我社主催の下に廿八日擧行の豫定

輸入組合協議

奉天輸入組合では三日午後三時から役員會を開き左の議事項につき協議する處あつたである

一、同業者の協調に關し相談の件
一、船運賃特約に關する件
一、旅商團に關する件
一、その他

民會長更迭披露宴

前奉天居留民會長守田福松、新會長野口多内兩氏の更任披露宴は二日晩ヤマトホテルに開催、出席者百餘名兩氏の挨拶に對して小倉地方事務所長來賓を代表して謝辭を述べ、極めて盛會であつた

自殺し損ねた男

自殺に失敗し裸で土穴に隱れ救ひを知人に求めて來た小西關池田貞

家賃値下の根本問題
家主會て協議

二日午後三時から奉天不動產組合では家主會を奉天俱樂部に於て開催、家賃値下げの根本問題たる滿鐵土地料値下げ、東拓の金利引下げ等につき協議し四時過ぎ散會した

最後の勝利 貨友
全奉スポンヂ戰

全奉天スポンヂ野球大會の貨友對SMの優勝戰は二日午後四時から滿鐵グラウンドに於て擧行されたが結局六對零で貨友が優勝した閉戰六時

蘇家屯に强盜

二日午前三時頃蘇家屯附屬地內支人從業方に一名は拳銃三名は棍棒を所持せる四人組强盜侵入し、金票四圓、現大洋百元、奉票一萬元を强奪逃走した、目下犯人嚴探中

井上氏嚴父訃

奉天地方委員井上彥三郎氏の嚴父は郷里島根縣で病死せる旨入電があつたので井上氏は二日急遽歸鄕した

陳情委員赴連

蘇家屯公費區制要求の陳情委員一行は二日滿鐵本社に向け出發した

森永製菓割引

森永製菓株式會社ではマネキン孃三名を當地の特約店十軒に各店二時間宛出張せしめ同社製菓の割引販賣をなす由、本月七、八兩日の豫定

町のニュース

ヤマトホテルの納涼ルーフは一日夜で閉鎖されたが、入場人員は六月四百七十三名、七月四千五百六十一名、八月四千二百八十五名、九月一日四百七十三名、合計九千五百五名であつたと

◇

京城西四軒町十八番地藝妓田九すゞゑ(二三)は情夫なる西村清四郎と手に手を取つて來奉せる形跡あり目下搜査中

人事

▲多田第十六師團參謀長 一日來奉
▲松島滿鐵農務課長 一日過奉撫順へ
▲森田長春驛長 一日營口へ
▲小坂奉天署保安主任 二日着任
▲鳴海代議士 二日大連より來奉
▲エムシャノフ氏(東支鐵理事) 一日長春より過奉大連へ
▲メーヤー氏(駐奉米國總領事) 二日大連より着任

開原

馬仲河における列車顚覆椿事續報

二日午前十一時卅五分、滿鐵線馬仲河驛構內で惹起した第十二特別急行列車の脫線、顚覆、椿事については本紙の逸早く報道したところであるが、負傷者は悉く同車の鐵嶺第五大隊附中村軍醫の手當をうけしめ貨物列車にて四平街滿鐵醫院に收容した、一方開原驛よりは霜島助役以下五名同驛に應援の爲め出張し、守備隊より十五名憲兵隊より佐藤分遣隊長以下四名出張して警備に任じ、警察より坂井司法主任以下四名現場に急行、滿鐵醫院より高木外科醫長外看護婦一名出張、また鐵嶺よりは直に救援列車を急發し現場の復舊に努めた、なほ第十二列車は第二十二列車の機關車にて一旦昌圖驛に逆行し下り線にて運轉せるがこれが爲め約三時間遲延して運行したが下り列車は昌圖金溝子間單線運行のため多少遲延せるも其他の上り列車と共に無事運轉して居る、而して該顚覆機關車は車輪と機關部と切斷され居る爲め目下解體作業中である、因に山崎工長は昨年同驛丁場に在勤中妻女を失ひ丁度八月三十日一周忌を濟ませたばかりである、遺骸は同所俱樂部に安置して驛員保線區員諸氏によつて鄭ろに通夜された

演習部隊協議

秋季機動演習に參加の第三十八聯隊が來る十月七日午前七時頃當開原驛に到着につきこれが接待方法につき近く協議會を開催すると

おらが町の歩み (三)
奉天の巻 (七)

現在の衰因は日本の恐慌と排日

鶴岡永太郎氏談

附屬地が充實したのは前にいつたやうに大正七八年の所謂好況時代であつた、日露戰直後に入込んだ邦人のすべてが十間房のバラックや城內の汚穢な支那街に住んで刻苦精勵すること十餘年、粒々辛苦して蓄積した財と、その足らざるところを東拓の出資に仰いで、新市街に近代的店舖を建築して移轉したのである、即ち過去の十餘年間の努力に報ひられたものを以て汚い不便な支那街の借家から附屬地に自力で建てた理想的な自分の家に移つて、これからほんたうに仕事をしやうといふところに、直に襲ひ來つた

大正九年のパニックで

あつた、此の不意打の影響と結果が茲に十年間、附屬地邦商の現在の悲慘な姿である、邦人今日の苦況は贅澤な附屬地に門戶を張つた自業自得の因果のやうに云ふ人があるが、私は決してさうは思はない、苦難十年の創業から完成への第一歩に移るか否かの時に襲ふたパニックを誰が豫想し得たらうか、私はたゞお氣の毒といふより外は無い、張作霖の生涯は我々滿洲在住者と密切な關係があるが、明治四十三年頃は一師長に過ぎなかつた、たしか日韓合併の翌年と思ふ

日本軍閥の援助の下に

が閱兵會見物を名に張作霖が京城に密行して寺內伯と會見し、日本の援助を受くる諒解を遂げ、それが遂に張作霖をして支那第一の大軍閥たらしむることになつたのである、張作霖が東三省に於ける最後の異分子である吉林の孟恩遠を叩き潰したのは大正七年頃であつたらうが、それからの張は完全に東三省の覇權を把握し、十餘年間滿洲王として君臨し、その死後衣鉢を學良氏に讓つて今日に至つてゐるが、此の露骨な日本の援張政策が支那民衆、殊に南方派の排日

感情を刺戟したことは甚だしいもので、今日の支那の國民的排日感情の重要なる一素因を爲したものであつた、二十五年前否それ以前からの人の對日感情は信頼と親密なものであつた日清戰爭で實力

北淸事變で秋毫も犯すことなかつた嚴正なる日本軍の印象は、南北の民衆に深く刻まれ、親日氣は全國に浸透したもので、私が明治三十六年頃谷忱氏と東邊地方を旅行した時の

支那官民の歡迎振りを

今から考へると噓のやうな事實だ、私はその頃長江筋も旅行したが、到るところ身體一つでは足らないほどの歡待を受けたものである、全國の學校には日本人教師が招ぜられ、留學生は津波のやうに日本に押掛け、東京だけでも二萬を超えた時があつた、而して今支那の津々浦々反日、排日の聲を聞かぬところとてはないこれには支那人の民族的自覺にも原因するであらうし日本の軍閥援助や二十一ヶ條等、色々の政治的原因が加はつてゐるやうが大正九年以來のパニックと深刻な排日とで今日の奉天は見らるゝが如き悲慘な狀態に置かれてゐる、しかし私は將來を悲觀しない今は奉天人の苦難時代である、これを耐え忍べば次の十年間には必ず好き實を結ぶであらうことを確信する【寫眞は鶴岡氏の秘藏で明治三十六年十一月三日天長節當日奉天日本人會の袂別記念撮影中央御眞影奉持者が鶴岡氏此の會が居留民會の濫觴である】

旅順

旅順の惱み (二十)
一記者

結論

以上述べたところの旅順の惱みは、記者の意見は稀で、多くは識者の聲の代辯に過ぎないのであるが、要するに要塞地帶といふ重い重い鎧兜に身を固め、海軍用地といふ鐵製の大き過ぎる靴をはき、舊世紀のおばけ宜しくの風體で一九三〇年の街頭に現れ出たのが現在の旅順の姿ではあるまいか。

◇

其重さに身動きならない鱗に昭和製鋼所設置の我田引水運動の尻馬に乘つて見たり、大商工都市大連の眞似をして企業を試み、大正八、九年頃の大失敗をなめたり、兎角柄にない腕を振り廻さうとするところは、まるで痩せ腕に鐵の棒其他雜變の七ツ道具を背負ひ込んで、ベチヤンコになツてゐる形ではあるまいか。

◇

公園よりも美しい風光と町とを有しながら、アチコチに公園を造つたりするのも、七ツ道具の一たるを失はない。

◇

七ツ道具を棄て、鎧兜を脫ぎ、素ツ裸の自己を顧みる時、そこには多數の見學者を招致すべき世界的戰蹟もあれば滿洲一の名山となり得る白玉山もあり、黃金臺、模珠礁の繁榮は勿論、旅大間の歡樂境たらしむるに適當な老虎尾半島もある。

◇

商人さへ勉强すれば三百萬圓の俸給生活者を有する消費地を、大連に荒される憂ひもなければ、工大、公學堂、中學校、女學校を有する新市街は、學都たるの誇りを有つてゐる。

◇

大連の補助港として石炭積込機械もあればドック會社もあり。貯鹽場としては大連を尻目にかける優越さを有つてゐる、不可能事を夢みる事や、柄にない企てを一擲して、これ等旅順の有する特色を生かすことにまづ最善の努力を拂ふ、これが旅順の惱みを一轉して旅順の喜びとする所以の途ではあるまいか。

◇

勿論それには官民一致の努力を要すべく、殊に舊世紀の鎧兜を脫し、鐵製の靴をぬぐには、軍事當局者の旅順に對する同情を求むる前に先づ有力なる輿論を作り、市長はじめ市會議員諸君の獻身的努力を必要とする。

◇

惱みの多い旅順市に理事者たるお歷々は願る爲すべき事多き光榮を有する筈であるのに、兎角無爲の評に甘んじてゐるのは惱み以上の惱みでなければならぬ、此時此際不言實行、褌一ツでプールの掃除までする社會奉仕の念に燃ゆる西山民政署長を失つた事は、旅順のために惜まざるを得ない。

◇

惱みの局面を打開して喜びの繁榮を齎す日の遠からざらん事を祈つて筆を擱く、終りに匿名の書面を寄せ或は直接間接に意見を寄せられ、又は記者を激勵された讀者諸君に感謝の意を表す(完)

撫順

憲兵隊も應援し匪賊團と拂曉戰
一名逮捕、一名は射殺
炭礦事務所中心に警官隊奮戰

一日午後十一時頃老虎臺窯業會社宿舍山東生れ苦力頭梁開會(二七)が三十日午後會社より苦力賃金票七百八十圓を受取りたることを聞知した各拳銃所持の

四人組

怪盜は同人にピストルを突付け右七百餘圓を强要したるも既に苦力に支拂ひたる後とて有合せの金品を强奪して逃走一方塔灣の炭礦部機械工場華工宿舍四棟七號鍛冶工徐玉明(三四)が夜勤留守中同十一時半頃六人組ピストル强盜襲ひ妻邢氏(二七)を脅し金品を强奪、その隣家賈連濤(三〇)方も同樣金品を奪ひ逃走、同十二時頃急報に接した撫順署では非常召集を行ひ各被害場所を中心として三重の

非常線

を張り、約五時間ぶつ續けで張込中、拂曉四時半東鄉神社附近に老虎臺へ押入りし片割れ二名を桑村部長の一名見し交戰の火蓋はきられ賊の一名は撫順醫院分院後の丈餘の草叢に逃げこみ、一名は貯木場から第三發電所方面へ逃げるのを追跡し第三發電所後にて鈴木巡査が最後の一發に賊は胸部を貫かれ即死前記拳銃一挺彈丸四十發を押收した、一方銃聲を聞きつけ出動したる

憲兵隊

は分院側に張込める寺田署長の一隊に應援、丈餘の叢中において賊の一名を逮捕、二日午前六時半頃漸く引揚たが、新市街近くの事とて曉夢を破られた市民は膽を潰した、因に搭連を襲つた賊は渾河對岸へ逸早く逃走したらしいと

殉職者の追悼會
七日東公園で

撫順炭礦開礦以來の殉職者追悼會を七日午前九時より東公園殉職者記念碑前において執行す、當日の次第次の如し

日支僧侶の讀經、炭礦部長弔詞、縣長の弔辭、遺族燒香、一般參列者燒香、供物頒與、撤饌

菱刈軍司令官
六日來撫視察

關東軍菱刈司令官は愈々來る六日午前十一時着列車にて初度巡視のため來撫、守備隊檢閱後古城子露天掘その他を見物し同日十五時三十分にて離撫の豫定である

5—2 失策の續出に名商敗る
二日永安臺球場で擧行 對撫順軍野球戰

既報名古屋高商對撫順チームとの野球戰は二日午後三時四十分より永安臺球場に於て萩原(球)有川吉野、望月(以上交替にて壘)四氏審判撫順先攻で開始されたが觀衆は定刻前より各スタンドを完全に埋つくした、秋氣澄み微風だになき絕好の野球日和、兩軍とも打擊は伯仲の間にあつたが、名古屋軍失策續出し、守備堅からず終始撫軍に押され氣味で四回二、六回一、九回二、計五點を奪はれたに反し名古屋軍は六回裏漸く二點を得たるのみ五對二にて撫軍快勝す閉戰同六時總過及メンバー次の如し

名商	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
撫順	0	0	0	2	0	1	0	0	2	5

△一回 撫順二死後渡邊遊偷失、成松四球に出でしも森川二飛にやむ▲名古屋凡退
△二回 兩軍無爲
△三回 撫順森安打、尾崎三偸失岡田の犧打に送られ走者二三壘に據りしも、渡邊投偸して森本壘に憤死、次いで成松四球に出で再び滿壘觀衆を期待さしたが森川の右飛にやむ▲名古屋無爲
△四回 撫順一死後出原、隅野安打に出で、森三偸で二死後尾崎の遊偸失に出原、隅野相次で生還まづ二點を先取す▲名古屋無爲
△五回 撫順三者凡退▲名古屋一死後楠城四球に出でしも西尾の遊偸にダブルプレーを喫す
△六回 撫一死後隅野投偸失に出で捕手惡投に生還▲名古屋新井二壘打に出で二死後吉田の安打に生還、次いで酒井好打して吉田を還し二點を奪回
△七回 兩軍無爲
△八回 撫順高田安打に出でしも離壘してアウトとなり好機空し▲名三者凡退
△九回 撫一死後渡邊四球、成松三振後森川投偸失に渡邊生還、次いで森川三盜、高田の强打に還る▲名古屋最後の攻擊も遂に空し

	撫順		名古屋	
7	崎尾	松林	6
8	田岡	田小	4
2	邊渡	井吉	3
5•1	松成	代酒	8
9	川森	城楠	1•5
6	田高	谷田	9
3	原出	尾西	7
1	野隅	井新	5•1
5•4	森		2

正副團長改選
滿鐵社員は入團拒否を原則
青年團總會で決定

撫順青年團定期總會は一日午後七時半實業協會において開催、西川副團長開會の辭を述べ君が代合唱旨意書奉讀後事業報告、會計報告後團長に紀井一、副團長に瀨田修逸、安武榮一郎の二氏當選、各分團長は東部佐々木俊夫、中部石橋恒夫、西部島津元夫の三氏當選、幹事三十四名の指名後新團長紀井君の挨拶あり團則修正案として滿鐵社員を入團せしむべきか否かに就き議論沸騰の結果、團員の步調を徹底的に揃へる上に故障多き滿鐵社員は原則として入團せしめざることを可決し、同十一時過ぎ散會した

鮮人慰安講演會

總督府主催の鮮人慰安講演會並に活動寫眞を二日午後六時半より撫順新公會堂で開催した

海城

神社の秋祭り
神輿の渡御や屋臺で賑かに

海城神社の秋季大祭は十五日本祭を擧行するが十四日は宵祭、十五日は屋臺神輿等を出し盛大に擧行することに決定した

秋季運動會
十四日—小學校庭で

全海城秋季大運動會は愈々十四日小學校々庭において催すべく地方事務所にて協議會を開催したが例年の通り各種運動對抗競技等を催し盛大に行ふと

遼陽

對大連工場軍野球試合
四—一四でコールドゲーム

大連工場見習軍は一日朝來遼陽軍と午後四時半から白塔公園グラウンドにおいて野球試合を行ひ七回目までに大連軍の得點四、遼陽十四のスコアーであつたが日沒のためコールドゲームとなつた

大竹少年
滿洲水泳權大會て大活躍

大連において滿洲水泳選手權大會に遼陽から出場した大竹少年(一七)は二百米平泳に當日の一着との差僅かに一秒六、滿洲記錄との差二秒八で三着となつたが、選手權を獲て歸遼したが將來全滿的選手たる素質充分なりと非常に賞讚されたと

山本師團長
五日着任の豫定

遼陽駐劄第十六師團長山本鶴一中將は五日急行で着任のことになつた

秋季土曜講座
社會係主催で第一日は六日

滿鐵遼陽社會係では來る六日の土曜を第一回とし十三、廿日の各土曜日の午後七時半から小學校講堂において左記講師に依賴して秋季土曜講座を開催すと聽講無料、希望者は社會係(電話三六七)に申込み聽講券を受けられたしと

第一回 土曜日(六日)午後七時三十分▲南米事情(鞍山製鐵所採鑛課長久留島秀三郎氏)
第二回 土曜日(十三日)午後七時三十分▲遼陽附近に於ける鄕土(鞍山中學校教諭梅本俊次氏)
第三回 土曜日(二十日)午後三十分▲題未定(遼陽醫院長醫學博士飯田博氏)

森田部長昇進
鐵嶺に轉勤

遼陽警察署の外勤部長森田一氏は廿日附警部補に任官、鐵嶺警察署勤務の旨發表された

白塔だより

工場問題が生んだ廿萬圓配分の最後の鍵を握る審議會は殘暑の折柄、連日の會議もどうやら本題に入り遂に一審議中との便り▲委員諸君に不淨はないから更生會員も不平不滿を申す譯はないが審議中時折り疑問があつて貴重の時間を費したり論議に花咲く場合もある模樣▲斯く熱心と嚴正な審議で一日も早く結了して遼陽から工場問題の癌を去り、更生と振興に邁進したきものである▲社寺團へ配分案も更生役員會で千圓の神社筆頭に、西本願寺淨土宗の五百圓以下三百圓迄と內定したと、建立の古きが故に多かつたりする理由は毛頭ない古いだけ居住民は多く喜捨して居る、餘り喜捨が過ぎた故か聽者と斷落したり茶屋遊びが過ぎて追ひ出されたりした坊主もあつたのだ

吉林

大運動會
三年目に復活

當省教育廳に於ては本秋十月十日の雙十節を期し、軍官教練處の教練處を會場として第七回全省大運動會を擧行するさうであるが、本大運動會は去る民國十六年の雙十節に第六回目を擧行した儘今日迄開催せざりしもので今日擧行するとするときは三年目に復活を見る譯である、其會長には張主席を推し、王教育廳長、章民政廳長の兩氏は副會長になり、別に準備委員其他の役員は近く決定する筈であるが各學校ではこの噂を聞き既に猛練習を開始して居ると

張主席子息の結婚式
十六日奉天にて

吉林省政府主席張作相氏の第三子の結婚式は十六日奉天の本邸において擧げるが、時節柄質素に行ふと、吉林からも多數の官民が祝意を表して出奉する

營口

特別警邏班
匪賊に備へる

營口警察署においては屢々附屬地附近に出沒する匪賊を徹底的に防止すべく二日全署員の非常召集を行ひ晝夜の別無く市の警備に任ずる特別警邏班を組織した

赤帽を襲ふ

二日午前三時半頃青推子にピストル所持の三名の匪賊現はれ營口驛赤帽頭王振濟(三七)を襲つたが用意の獵銃を發砲せしため一物をも得ず逃走せり

鳳凰城

李達鎔侯爵
各所を御視察

朝鮮貴族李達鎔侯爵は去る第五列車にて御來鳳、宮城驛長、北里警部補、渡邊郵便局長等の出迎へにて驛應接室にて御休憩後、右三氏の御案內にて中國側官公署並に城內の旅人、秦鐵氏邸宅等を御視察特に附屬地內外の鮮人の生活狀態や名物煙草の乾燥狀況等を御視察あり十七時六分發列車にて御出發隨行員と共に五龍背溫泉ホテルに向はれた

旅順

百五十名の會員が 三日に亘り會議 旅順では十六日會議
◇西部日本水産大會◇

來る十四日より三日間旅大兩地に於いて開催される西部日本水産大會は出席者百五十餘名で十一日門司發、十三日大連着のばいかる丸で來滿するが、三日間の日程左の如し

▲第一日（十四日）大連協和會館にて會議
▲第二日（十五日）大連市視察
▲第三日（十六日）旅順昭和園にて會議、正午太田長官招宴、戰蹟見學、午後七時昭和園にて旅順市長招宴、一泊
▲十七日七時三十五分旅順驛出發奥地へ

西山氏送別會

申込は市庶務係へ

西山北海道土木部長のため來る八日午後六時より米内山民政署長、永山市長、東郷市會議長、宋公議會長等發起人となり、料亭「壽」において送別會を開催、會費は金二圓五十錢出席希望者は市役所庶務係（電話五二番）へ申込の事

華人から頌德牌

在旅華人主なる二十餘名は北海道土木部長に榮轉せる西山茂氏に對し高さ一尺五寸、幅九寸の美事な純銀製頌德牌置物一個を贈呈した

派出所を瞞した男

去月二十四日午後八時頃旅順稻荷町派出所から迎へに來つて迎福派出所へ乘用馬車の派遣方を依賴し元寶町より七十一號の馬車に乘用靡崎弁官官舍前より乘逃げせる邦人は目下元寶町九八市役所傭人講脇朝一方現旅順民政署水道係職工講脇政義（二九）と判明したが全部自白したので目下拘留中

木村屋菓子店にマネキン

乃木町木村屋菓子本舖では旅順で初めての試み來る七日、八日の二日間東京一流のマネキン孃が新市街支店双方の店頭へ現はれる、當日の買上者には景品及び子供連に御土産を贈呈すると

拾つて質屋へ

市内名古屋町居住大工耿崇良（二）は去る五月十八日午後六時頃驛前道路上で小型金時計一個を拾得横領し一日夜浪速町富神永王某方に入質に行き御用

西山茂氏令孃結婚

北海道土木部長に榮轉した前旅順民政署長西山茂氏の令孃華子さん（二二）は今回古賀旅順第二小學校長夫妻の媒酌に依り元旅順第一小學校訓導宮本伯次郎氏四男滿洲醫

黄金臺

米内山新民政署長は二日初登廳西山前署長と事務の引繼を了り各係長を集め就任挨拶を述べ二日午前十一時より齊藤庶務主任同伴市内各方面を歷訪就任挨拶

◇

在旅三州會大連滿日兩支社後援の飯平禮壽長翁の薩摩琵琶演奏會は一日午後七時から昭和園で開催、聽衆三百餘名で盛況を呈した

在旅福岡縣人會では二日午後六時より「青葉」で西山土木部長の送別會を開催

◇

一若改め三代目奈良丸の昭和園開演日は四日夜一日限と決定、入場料は特等一圓七十錢、平場一圓四十錢、軍人學生一圓で演題は左の如し

尾張大八（吉田一の助）江戸の花（吉田一樂）藝者の誠（吉田一奴）竹若丸（吉田萬爾）肉彈（吉田奈良右衛門）水府老公（京山鶯右衛門）勸進帳、神崎東下り（吉田奈良丸）

傳染病續發

大出身醫大附屬醫院に勤務中の宮本田守（二七）氏と婚約成り來る六日旅順偕行社で華燭の典を擧げる新婦は旅順高女出身の才媛である

▲東郷町　市役所構内自動車運轉手家族猿田タケノ（一九）は一日疑似赤痢で療病院收容
▲伏見町七　土木課傭人家族金井スキ（四二）同上
▲明治町三二ノ三　軍人家族咲山宗威（八）同上
▲同町六一　關東廳傭人家族原崎三郎（一三）同上
▲元寶町一二五　官吏家族村波波子（一七）は二日腸チブスで同上

市中の噂

旅順では一寸知られた蓮尾ツル（五七）さん、先日旅大バスに乘つて赴連の途中龍王塘で急停車のため負傷した、會社では早速旅順醫院に入院さしたが發熱九十四度、注射も二度といふので御醫者さんより小山主任の方が大心配▲三日程經つと蓮尾さん「怪我は災難ですそれに妾や他に病氣を持つてゐるから、萬一死にでもしたら申譯ない」と、熱があるにも拘らずサッサと退院してしまつた▲小山主任「現代稀な婦人です、會社の自動車で怪我でもしたら僕の惱でも大業にブツかつて來る者の多い世の中に斯の如き女性が旅順には居るんですよ、會社でも出來得るだけの慰安と手當を加へさして貰ひ度いと思ひます」▲蓮尾さんその後の經過はまア好い方だとは結構である

安東

早大後半奮ひ 安義聯合軍敗る
盛況だつた劍道戰

早大劍道部選士一行は一日朝來安午前中は鴨綠江を初め市內各所を見學し午後一時より安義兩地を打つて一丸とせる二十三名の猛者と大和小學校講堂に於て試合を行つた、試合に先だち井上會長の挨拶があり早大久保田、安義井上に依つて火蓋は切られた、審判は早大の市毛敎師、新義州東島敎師、最初は互格の勝負で進んでゐたが中頃より早大優勢となり斷然安義軍を壓して大勢を決す、この日觀衆堂に溢れる盛況を呈した、因に當日の成績次の通り

早稻田	安東
○○久保田	井上
○佐藤	○吉岡
○岡田	○岩崎
○大野	○岩根
平石	○池尾
松村	○加茂
○山田	○大久保
漆野	○山中
○山本	塚田
○田村	山ノ内
○七島	末永
○石渡	水井
○中原	○犬童

齋村	○○金子
○○鈴木	○佐藤
○○松岡	○淵田
○○井上	竹内
○○平石	眞方
○○山守	○林
○○和田	○黑岩
○○副將大森	副將満口
○○大將玉利	○大將野中

大和校選手 決まる
州外小學校陸上競技出場

第七回州外滿鐵小學校陸上競技大會は來る二十四日奉天敎育專門運動場で擧行されるが大和校選手は左の如く決定し毎日猛練習を續けてゐる（括弧內は補缺）

▲尋常科男　一〇〇米丹生（品川）二〇〇米北浦（丹生）走巾跳多田（大澤）リレー（四〇〇）多田、丹生、品川、北浦
▲尋常科女　五〇米熊坂（坂本）一〇〇米坂本（熊坂）走巾跳中澤（榮橋）リレー（四〇〇）熊坂、坂本、中澤、榮橋
▲高等科男　一〇〇米三代（森本）四〇〇米今野（三代）走高跳森本（高木）三段跳高木（伊藤）リレー

鐵嶺

火華散る接戰に 空前の壯觀
鐵嶺軍の奮鬪物凄く

對滿倶庭球戰遂にドロンゲーム

大連滿鐵倶樂部庭球軍を迎へた鐵嶺聯合庭球團は一日午後一時より松島町コートに對戰した、鐵嶺軍選手の奮鬪目覺ましく殊に主將組たる樋谷今野、矢野青木組の當り凄じく接戰復接戰鐵嶺空前の白熱戰を演じたるが最後に鐵嶺矢野組對大石組の一戰は二對二で日沒のため遂にドロンゲームとし七時閉戰した當日の戰績左の如し

大連滿倶 — 鐵嶺聯合

第一回戰

大連滿倶	成績	鐵嶺聯合
（渡邊）岡	一―四	今（楢）谷野（鐵）
（川久保）高木	四―一	久（相良）代（開）
（大津）高島	二―四	中（市川）村（開）
（工藤）大石	四―三	坂（佐賀）井（鐵）
（佐藤）田川	一―四	森（三田）（開）
（齋藤）下重	四―〇	林（岡本）（鐵）
（津田）關谷	四―三	田（木津）中（開）
（渡部）樋口	一―四	青（矢野）木（鐵）

第二回戰

大連滿倶	成績	鐵嶺聯合
（川久保）高木	〇―四	今（楢）谷野（鐵）
（工藤）大石	四―二	中（市川）村（開）
（齋藤）下重	四―〇	森（三田）（開）
（津田）關谷	二―四	青（矢野）木（鐵）

第三回戰

大連滿倶	成績	鐵嶺聯合
（工藤）大石	四―二	今（楢）谷野（鐵）
（齋藤）下重	三―四	青（矢野）木（鐵）
（工藤）大石	二―二	青（矢野）木

匪賊卅名を射殺と逮捕

三十一日法庫縣長吳滿廉氏より新臺子商務會に達した電話情報によれば、同日朝法庫縣管內において四十餘名の賊團と公安隊と激戰し賊團十五名を射殺或は逮捕したる

廉賣 セリ市場の
公設市場小賣人から抗議を提出

安東公設市場小賣商人はセリ市場が公開して野菜、果實類を一般市民に廉賣するは大打擊であるとし過般よりセリ市場に交涉しつゝあつたが話が纏まらぬため、數十ケ條の改善案を作製して地方事務所當局に改善方を請願して來た、地方事務所當局では兩者の意見を聽き合理的な解決に努める事とした が相當困難な問題と見られてゐる

菱刈軍司令官 けふ來鐵檢閲

菱刈關東軍司令官は守備隊檢閲の爲め今四日十二時半着特急列車にて來鐵一泊五日午後の特急で南行する

旱魃救濟嘆願 鮮農七十名來鐵

本年は各地とも雨量多く水害續出の有樣であるが亂石山郊外沙沱子及び榮家市の鮮農は旱魃被害のため農作收穫の見込みなく其日の糊口にも窮するので、約七十名が一日來鐵し鮮人民會及び領事館に救濟の嘆願をした

林憲兵分隊長 隊員等七日離鐵

鐵嶺憲兵分隊は一日附を以て駐劄大隊の引揚に伴ひ憲兵分遣隊と縮小され、林分隊長以下數名は昇格せる四平街分隊に轉じ其他二三名は營口に轉出する筈で來る五日までに荷物の輸送を終り、六日には各方面を歷訪七日に赴任離鐵の豫定であると

長春

わが守備隊兵 馬賊と遭遇交戰
伊藤一等卒銃創を負ふ

當守備隊第五大隊木村上等兵は卒五名と共に一日午前五時十分四平街を距る南方二千米突の地點廟子溝潛伏斥候中、長銃を肩にする約四十名よりなる馬賊團に遭遇、急報に接した急行せる中隊長以下二十八名と協力、賊團を擊退したがこの交戰によつて伊藤喜市一等卒は左肢總骨部に貫通銃創を負ふた賊團の遺棄せる物は支那服、蒲團多數、奉票五千元、驢馬屍體一頭、彈藥空罐二十三個、阿片吸飲器等である

六A―三で長春快勝
一日の對龍山戰

全長春軍對龍山野球戰は一日午後三時四十五分安部磯雄氏の始球式後熊本（球）武居（壘）兩氏審判のもとに龍山先攻で開始された、龍山は第一回杉浦の安打と二敵失に二點を先取して幸先を祝ひしもその後高橋投手の好投に封ぜられて得點なく、僅に九回小幡の左翼越本壘打に漸く一點を加へたのみなるに反し、長春軍は一回川上の右翼安打と二敵失に一點、二回籐戶、杉田、淺香の連續單打と四球の押しに二點、五回小幡の單打、川上の二壘打と一壘の丸失に二點八回更に久保田の本壘打に一點と徐々に得點を重ねて計六點を得、六A對三にて長春快勝す、閉戰同五時四十兩分、軍メンバー左の如

	長春	1	2	0	0	0	2	0	0	1	A	6A
回數		一	二	三	四	五	六	七	八	九	計	
龍山		2	0	0	0	0	0	0	0	1	3	

長春：淺香（9）小幡（6）小川（4）久保田（8）高橋（1）原（7）藤杉（3）戶田（5）
龍山：杉浦（9）生村（6）長谷川（4）小幡（8）西野（7）櫻井（2）平井（3）吉村（1）安田

神社で擧式後 講演と映畫
震災記念

長春に於ける關東震災七週年記念式は一日午前十時五十八分から各團體全部出席し長春神社境內で嚴肅に擧式、終つて境內で震災當時の悲慘なる事實談、午後七時から講演並に震災の活動寫眞が長春座で公開されたが場內は立錐の餘地なき入場者で盛況裡に意義ある記念日を終つた

青訓生の露營
十五日は挾窄射擊

長春青年訓練所では八月卅日から卅一日朝にかけ西公園において露營並に夜間演習を實施した午後四時地方事務所前廣場に集合、宮地主事からの注意があり西公園に向ひ國民體操手旗體操を行ひ、夜は守備隊から廿九名の兵士が應援夜間演習を實施、卅一日朝五時起床東方の遙拜、募金徵收の後朝食を喫し記念撮影の後主事の訓示あり野外演習の幕を閉じたが非常な好成績であつたと因に來る十五日の長春神社には一同參拜の後挾窄射擊を行ふと

八相

複選擧にせよ
非 單 生

大連市民が市政に冷淡なのは事實だ。誰が市民をコウさせたか、それは全市民にも責任はあるであらうが、現在のやうな市議にも責任がないとはいへぬ。ところで全市を二區に分けて直接選擧を行つてゐたのでは結局、碌な市議を得ることは出來ぬ。利權屋か彼此屋かそれでなくば小さい賣名の徒輩に過ぎぬのだ。

それでも適法に選擧せられたものなら、いかに劣惡の議員といへども當然に任期間は市政の運命に相當の役目を預ぜしめればならぬのである。大連市の如き事情にありては、支那人議員が官選であるのに對し、民選議員も直接選擧よりも間接の複選擧にしては如何。まづ十數の選擧區に分ち、その小さい選擧區から二、三名ぐらゐの委員を直接選擧により有權者から選擧せしめ、その委員が全部一堂に會し適當の方法を以て市議を選ぶことにしては如何と思ふ。あるひは一選擧區から一市議と定めその市議を選ぶべく四、五の委員を有權者から直接選擧せしめるも可なり、とにかく現行の如き選擧規則では市政の圓滑に向上、運用して行くところの市會議員を得ることは黃河の清澄するのを待つやうなものである。

中傷を目的とするものは採らず　**投書歡迎**　新聞行數五十行以內のこと

奇特な警官
行路病鮮人を手厚い看護

安東警察署管內湯山城派出所駐在巡查土井周平氏は先月二十三日ごろ奧地方面より同地に來れる四十五六歲位の鮮人男が病に罹り知人もなく困却せるに同情し自らこれを引取り看護に手を盡し、その後は同地の日鮮支人間より寄附を集め至れり盡せりの看護をなしたが遂に三十一日死亡した、輕佻浮薄な世に人民保護の職にありとは言へ同氏の此の美しい行爲は住民一般より感謝されてゐる

（八〇〇）三代、森本、今野、高木

審判お尋ね
愛 球 者

先日のヘボ試合において3Bに走者あり、投手之を牽制せんとして送球せず、然るに攻擊側投手の脚プレートを離れざりしを理由にボークを主張し、走者ホームインとなれり、左の二點につき大連野球審判協會の御敎示を仰ぎたい

問一、攻擊側の主張是なりや即ち二、三壘走者の牽制球は送球するを要せざるは分明なるが此の場合は必ずプレートより脚を離す事を要するや

問二、若し脚を離すべきものとせば牽制をなし脚を離さず球も送らず、次に打者へのモーションを起し打者へ正當の投球がなされたる場合如何

稔る秋 色榮ゆる果實
熊岳城農園巡り（三）
熊岳城支局 一記者

下野農園

◆…「日出で、作し、日入つて息ふ、井を掘つて飲み、田を耕して食ふ」の獨立自營の境涯に立つて樹風肌をつんざく農園の一隅に鍬鋤の鐵を手から離した事のない支那服姿の活動家こそ熊岳農園主同島直氏である、春草萌ゆる樹下に施肥や除草と土いぢり―それは氏が天來の趣味で有り道樂である烈日の下逞しい活動に土より掘り出す實を以て街園の礎となつて報國誠忠の眞を致すは、やがて日蓮の精神に歸するものなりとの信念から自ら勞作し總てを總攬するのである、果樹の競爭なら、品質から、豐額から、何處からでも決して人後に落ちぬと自信する、苦力任せにせず、監督者まかせにはせぬ鴉である。

◆…氏の郷里は栃木縣上都賀郡東大蘆村字上日向、明治三十四年三月宇都宮中學を卒業し三十五年四月栃木縣より縣費生として同文書院に留學、鬼怒川を天下の大河と心得て居た眼に長江の汪洋たるを望んで、熱々上都賀の山中では四尺八寸の小男も活動の餘地なきを感じたのは、同文書院を卒業した明治三十八年三月、當に奉天の一戰が明かに日露兩軍の勝敗を世界に證據立てた戰勝氣分の漲る春であつた青雲の志止め難く遂に明治四十一年三月滿鐵に入り大連本社に在勤一箇年、翌四月瓦房店經理土木係主任となり大正元年九月公主嶺經理係に移るまで四ケ年間熊岳城の梨の色香が浸み込んで自然に親しむ土いぢりが仕度くて堪まらず、大正二年五月斷然會社を辭して今の事業に手を染めた

◆…かくて純粹のお百姓にはなつたが創業當時の苦心は一通りでない、其の頃から身を包んだ支那服は膝がぬけ肱がされても一心不亂に勤勞主義で押し通し、漸く借金も濟ましほつと一息つくと、六人の子女を後に糟糠の妻菊子さんが亡くなる、一時は學校通ひの子女の靴襲の手入から靴下の繕ひまで自分でした、其の手で鋤鍬をとつたものだ、然し今や溫容花の如き旭關夫人の助けはあるが、其の前後より君の信仰は益々盛んになつた、次から次へと一要四子を失つた君の精神には、やはり淋しいものがなければならぬ、然し日蓮の躍行もそこに有つた、日蓮の人間的惱みもそこにあつた。總ては氏が精進への試練であらう【寫眞は熊岳農園】

飛機來！
汪氏を目標に南軍北平襲擊【下】

北京は鄭州や許州の田舍町とは大に異つてゐる、百三十萬の住民の中に汪精衞一人を見出して高い處から爆殺しやうとするのは容易の業でない、蔣介石も餘程、血迷ふてゐると見える。

×　×

前二回の襲來は戰鬪の中心地であつたから、豫期した恐怖であつた、今度三回目の空襲は全然豫想外の出來事だ、警備司令の楚溪春さへまさか來やうとは思はなかつたと白狀してゐる。

×　×

蔣介石は河南方面は思ひ切つた飛行機政策を取つたが、敵として射止めたのは樊鐘秀一人位である大部分の爆彈は善良なる住民と家屋を殺傷破壞したに過ぎない、實に罪の多い仕業ではある。

×　×

今度、北京を襲ふたのは示威運動であつたには違ひないが、眞の目的は汪精衞爆殺にあつたらしいその證據には當日、會議中であつた懷仁堂と汪の私宅に投彈を集中した、それは爆彈投下の跡を一見すれば明瞭に判斷が出來る。

×　×

南軍飛機の襲來は外交團の怒りを買ひ、國際的信用を失墜した外戰鬪的に何等の効果もなかつた、支那人民の怨恨を深くしたことはいふまでもない。

×　×

蔣介石が外交團の抗議を無視して襲擊を斷行するかどうかは知らないが、北京官憲では南苑から高射砲とやらを取寄せて、景山、天安門、前門、永定門等の高處に取付けた。

×　×

愈々空と地の戰爭となれば內外の住民は穴居生活でも始めねばならぬ、自分の國から買込んだ飛行機で脅かさる、米國人などはどんな氣持であらうか。

×　×

必ずしも米人のみでない、我々居留民も同憂同感だ（北平特信）

慢性胃腸病には断乎としてアイフを服用せられよ

慢性胃腸病にて從來種々の藥を服用するも効なく外觀には左程大病らしく見えざるも胃腸內壁には恐ろしき疵やたゞれを生じ◉食慾進まず胸先痞へ嘔つき嘈雜出で◉下痢や軟便にて便に粘液膿汁を混じ◉腹はり放屁多く出でゴロゴロと鳴り◉胃酸過多症にて食前食後に胃部痛み滋養物を食するも身につかず身體衰弱し◉元氣衰へ顏色悪しく神經過敏となり◉肺尖肋膜に故障を起し咳や熱出で◉少しの飲酒や不消化物を食するも覿面下痢し痛み◉重症にて痛み甚しく便に血液膿汁を混じ胃癌又は腸結核腸潰瘍等の疑ひある危險症には是非ともアイフを服用せられよ。アイフは內服と同時に其の主藥は腸胃內壁に於ける糜爛面に附着し炎症を鎭め粘膜を强壯にし粘液の分泌を減じ腸の蠕動を制し下痢を止め痛みを鎭靜す故に食慾を進め體重を增加し血色を良し榮養の吸收を佳良にし健康を著しく增進せしむるの効果を有す。

アイフ藥價
普通アイフ　四日分 七十五錢　八日分 一圓五十錢　十七日分 三圓　四十五日分 七圓
重症用特製　十一日分 五圓　二十三日分 十圓　三十六日分 十五圓　八十日分 三十圓

發賣本舖　大阪市東區淸水谷西之町　順和公司
振替大阪三四五番　電話東五〇〇〇、五〇〇二、五〇〇三

大連市山縣通一丁目　順和公司　アイフは全國各地藥店に販賣す

おらが大連の成長を語る (4)

女探偵殺しの噂さに虐まれた虎公の話

今はモボやモガの自由の天地 中央公園の變遷史

面積三十二萬坪、現在では大連市民唯一の遊歩地である中央公園の古木に戰後二十五年間の變遷を聞けば面白い話が語られるだらう。

◇……◇

中央公園の所在地はもと青泥窪の村落のあつたところ、二百年前から若干の民家はあつた、露人はこゝに植物園と農事試驗場を設けやうと立退料をやつて百姓部落を老虎灘方面に移しスラヴ式獨特の大規工な設計で公園設備をなした、今こそ大雨の後一時間か二時間濁流滔々…平常は赤い土塊がゴロ〳〵と間の抜けた川底を見せてゐる、名だけ床しいダルニー川も當時は割に水があつて兵士等が川水で風呂を沸して戰塵を洗ひ落したものである、當時董を大分植えたらしく四月下旬底地は一夜にして紫色に裝ひ自然に惠まれぬ人々の心を慰めた。

◇……◇

今は人に忘れられた樣な不景氣な檻に小汚い熊が物憂さうに這ひ廻つてゐるがこの檻にこそ問題の虎公がゐたので虎公園の緣起物語は眞紅の女性の血で色塗られて內地の隅々まで知れわたつたものだ。然し事實はそんなことがあつたのでなく、當初この虎は奉天總督增祺將軍から時の露國極東太守アレキシエフ氏に獻じたもので、ア氏がそれをダルニー市に下附してかしこに檻を造つて入れ、市民の慰みとなつてゐたものである

◇……◇

その後ダルニー市が我軍の手に移つて虎公も相變らず元氣でゐたが何時の間にか我が若き女性が軍事探偵の嫌疑を受けて虎の檻に入れられ衆人環視の中で噛殺された等といふ話が流布されたものだから虎は我軍兵士や一般人から隨分虐められて投げた石塊や木片等で檻の中は山積したといふ程だ、可哀さうに身に知らぬ罪を着せられて毎日々々虎公は鐵檻にシガミついてくやし泣きに吼てゐたが、その聲が餘り悲慘だ、また萬一怒り狂つた虎がどんな間違ひを起すかも知れぬといふ心配から皇軍のダルニー善後整理委員會から虎に手出しすることを禁じた

◇……◇

それでも日に日に虎は瘠せてしまつて何も食はず吼て許りゐるのでロシヤ時代に世話係であつた支那人を探し廻つた、漸く見付け出して虎の前に連れて來た時の情景は全くセンチメンタルなもので、久し振りで飼主に會つた虎は如何にも懷しげに支那人が檻の中に入つて綺麗に掃除してやつたり、肉をやれば嬉しさうに支那人の手をなめて溫順しく言ふことをきくのをみて、猛獸にもこの情愛があるかと感じたほどだといふ

◇……◇

その後管理が民政署に移つてから飼養費が月二百圓もかゝり當時の貧乏な財政で持て餘してゐたが間も無くコロリと死んでしまつた剝製されて常盤小學校に保存されてゐるのがその虎公である

◇……◇

公園の名も虎公園から西公園にまた今は中央公園とモダンな名前に變つて、年々改良されて行き、遊覽道路の小暗い胡藤の樹蔭ではモボ、モガのランデブーが演出されて時、所なきエロシーンに樹の鳥も「あらハイスピードだわ」と吃驚する程だが、その傍らの枝を張り出した老樹は過ぎた日靑雲の志破れた男が次々と身を垂れて首吊つて死んでいつた五人の顏を想ひ泛べて苦笑してゐるだらう【寫眞は懷しい飼主に會つた虎】

五十錢銀貨を廢止して新しく補助貨幣鑄造?

銀安が續けば僞造の恐れ 大藏省が特殊合成金の研究

【東京特電三日發】我國の補助貨幣たる五十錢銀貨は大正八九年の銀相場昂騰時代に利に敏い一部支那人のため國外に持ち運ばれ續々鑄潰されたので、その取締りを嚴重にすると同時に銀貨幣を改鑄して含有分を減少すると共にその形態を縮小して

鑄潰し 防止をなし一面造幣局收入として一億數千萬圓の銀貨改鑄益金を生み出し其後この益金を基礎に農村振興特別會計法を設けその資金に充當した、然るに最近における銀相場の暴落に伴ひ我五十錢銀貨は金本位制に依る補助貨なるがため其實質に對比し自然非常に高價なものとなつたので滿洲その他在住の支那奸商の中にはこれに眼をつけて安價なる銀材料を以てその僞造を行ひつゝあるものもある模樣で大連、奉天等においても既にその僞造銀貨發見の事實あり、出先の

我官憲 において十分これを警戒調査しては居るがこれをこの儘放置し且銀の低相場が永續するにおいては大仕掛けの僞造を計畫される恐れもあるので更にその對策を講ずべく大藏省でも考慮して居る、尤も我國の銀貨は頗る精巧なる機械に依りて鑄造されて居るものであるから今の處これを鑑識と寸分違はぬように僞造する事は技術上甚だ困難で、僞造者としてもその手數の割合利益が擧がらぬのでソウ

露骨に は行ひ得ぬものと見られて居るが、何れにしても純分比價の關係に徴しその可能性はある譯であるからこれに對し根本的の考慮をなす必要があるといはれて居る、現に我大藏省理財局邊に於ても補助貨幣を銀によることは今日既に不適當であると云ふ議論が有力で、白銅貨その他の實績に鑑み或種の合成金屬によりてこれが鑄造をなし銀貨に換ゆるべく考慮し、目下專門家の手に依りてその實質的研究を行つてゐるから遠からず貨幣法の改正と共にその

實現を 見るに至るべくそれと同時に改鑄益金も相當生ずる筈であるから財源難の折柄好個の財源捻出の一方法として其實現に着手されるに至るであらうと(寫眞は廢止の運命にある五十錢銀貨)

海軍機墜落 搭乘者負傷す

【大村三日發電通】大村航空隊三等航空兵曹前田丹三(二三)は二日午前單獨飛行訓練中、竹松村海岸を距る二百米突の海中に墜落機體を大破し兵曹は頭部顏面に負傷した

日本でも珍しい金石文じ

羅振玉氏が手刷にして大連圖書館に寄贈

旅順に在住する世界的碩學、羅振玉氏は古文書の研究家として世界的に名高いが、氏が在來蒐集せる金石文字を手刷にしたものを十冊に分冊し製本して大連圖書館に寄贈した、金石文字は支那周時代の文字で支那古代の文化を研究するには是非とも必要なものであるが羅翁は金石文字研究家としては世界的權威者で、內地の大學圖書館でもこれだけの多數所藏してゐるところはないので柿沼館長は大喜びで同館の寶物として珍藏することゝなつた

秋のサロン幕開く 二科、美術展

【東京三日發電通】美術の秋に魁けて上野公園美術館では二科會、日本美術院が三日を招待日として一齊にサロンの幕を上げた、兩展とも午前中は約四千の入場者を集め深刻な不景氣も此處ばかりは別天地の感がある、この展覽會の外に同じ館內に構造社展と靑龍展が二日から開かれ、構造社は例によつて同人の綜合美術の粹を見せ、靑龍展は全出品點數二十四點と數においては比較にならぬが川端龍子氏の力作を始め珠玉の樣な作品

大掃除 大連署管內は十日から開始

大連署では來る十日から淸潔方法を施行するが檢査日割は左の通りである、尙指定期日までに施行し難きものはその事由を具申し所轄警察署、村落に在つては所轄警官派出所の承認を受けて貰ひたいと▲十日大連驛、北公園、濱町、日本橋各警察官派出所管內▲十一日浪速町、美濃町、奧町、西廣場各警察官派出所管內▲十二日敷島廣場、土佐町、山縣通、寺內通警察官派出所管內▲十三日汐見町、山手町、千代田町、大和町各警察官派出所管內▲十五日楓町、神明町、播磨町、若狹町、逢坂町各警察官派出所管內▲十六日常盤橋、近江町、西公園町、初音町、桃源臺各警察官派出所管內……寺兒溝、石道街、老虎灘……濱猫屯、南關嶺、大房身……甘井子、華鑛堡各派出所管內

竣成した後藤伯銅像

傍らに立てるは朝倉文夫氏

8A―3 凡失續出して長商再び敗る

對滿倶二回戰の戰績

長崎高商對滿倶第二回戰は三日午後四時十分より滿倶球場に於て宮武(球)木下、上原(壘)三氏審判、長崎先攻で開始したが、長崎僅かに二回に一點、三回二點を上げたるに反し、滿倶は一、二、四七回にそれ〴〵一點づゝ六、八回に二點づゝ計八點を入れ八A對三で再勝す、閉戰六時

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
長得點	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3
滿得點	1	1	0	1	0	2	1	2	A	8A

經過

△第一回 長商一死後山本一壘線寄り二壘打、續く永田の左前單打に山本三進したが、小田部二匍▲滿倶一死後芥田一匍ト

戰評

前日と同樣長商內野の凡失に依り再び長蛇を逸して潰滅した▲二三回と凡失に依りて滿倶に得點を與へたが二回青山の不振に乘じて一點を回復し三回鈴田片岡のタイムリー、エラーで二點を得てリードして逆轉、四回滿倶再び內野失に依つて一點を得て同點となり得點の上に於て興味津々たるもの

六大學リーグ戰組合決まる

【東京三日發電通】全國ファンの血を沸かす秋季六大學野球リーグ戰はいよ〳〵來る廿日を第一戰として左の如き日割で行はれる事となつた

九月廿日慶立一回戰、明帝一回戰▲同廿一日明帝二回戰、慶立二回戰

シ早兩大學選手交驩

【東京三日發電通】今回來朝したシカゴ大學野球選手一行と早稻田選手は三日午後一時早稻田大隈會館に集合し高田總長の挨拶、シカゴ監督の答辭あり一同歡を盡して午後三時散會した

內滿選拔野球戰(第一日)

松山商業―大連商業 けふ午後四時から實業球場で

奈良丸の日延べ 大好評御禮にけふ一日限り

本社販賣部主催滿鐵勞務課後援の大連劇場における二若改め三代目吉田奈良丸一門の浪曲大會はいよ〳〵昨三日夜を以て盛況裡に閉會したが、大連劇場にては初日以來連日に亙る大好評の御禮興行として特に今四日限り一日だけ日延して吉田宗家の秘曲として有名な坪內逍遙博士原作坪內士行氏浪曲化の『柳一葉』の新作物及び義士傳中の呼物である『兩國の勢揃ひ』の長講二席を以て襲名披露の御禮として充分の浪曲藝術の眞價を紹介することになつた

兒童英語 靑年會兒童英語講習會

九月七日開始、尋常四年在學以上の兒童四十名募集委細事務所に照會

歐洲遠征の最後戰 日波陸上競技の成績

【ワルツー二日發電通】日本陸上選手歐洲遠征最後の……

咸鏡南道の四人組强盜 三名まで捕ふ

【京城三日發電通】去る八月……日咸鏡南道豐山郡內中里駐在所を襲擊し松山巡査部長……した四人組匪賊の行方に就き引續き咸鏡南道警察部に於て……中のところ、二日夜八時……岡代、朴爾巡査が搜査上の……ため洪原郡景浦面に赴く途……

雪崩れ込んで濟通丸臨檢

理不盡な天津警備司令部員 海關搜查隊が停船を命じて 早速、嚴重に抗議す

天津稅關長シンプソン氏が八月二十六日附サーキュラーを以て各國汽船會社および船長に對し海關搜查隊なるものを新設し今後時宜に應じ白河上下の船舶に對し航行を停止又は徐行を命ずるやも測り難しと通告したるは既報の如くであるが、船會社方面ではその不法で[illegible]

通告に 對して結果を見た上適當な辦法を講ずる事となつてゐた、しかるに三日當地船會社關係への情報によると大汽の天津航路船濟通丸は二日白河を遡航中、突然天津警備司令部員並びに前記海關搜查隊員より停船を命ぜられしかもドカ〳〵と乘込まれ種々船內の臨檢を受けたが、別に大した事故とては幸ひ惹起しなかつたが、かゝる理不盡な

行爲を なすは面白からずとなし直にこの旨を報告して來たものである、目下大汽天津支店は日本領事館と協議のうへ嚴重なる抗議をなしたが重大化する模樣である

日本選手不參加

北寧線夜間運轉一部休止

七月十七日以降水害不通であつた北寧線は二十九日漸く開通したが未だ夜間運轉危險のため奉天、北平間に一〇一、一〇二列車、奉天山海關間に一〇三、一〇四列車の各一往復のみ直通運轉しその他の列車は運轉を休止すると

蟹工船々長ら三名拘引さる ロシヤ官憲に

【ウナラスカ(アラスカ)二日發電通】二日當地に入港した國際蟹工船會社所有トロール船國際丸(二五九噸)の船長本田氏以下高級船員三名は當地官憲に拘引された右は同船がアメリカ領海內で魚を取つたといふ嫌疑に基く者である

話題の中心

今度出來た森永ベルトラインストアーの宣傳にわざ〳〵東京から、單身やつて來た明眸皓齒、すばらしいモダンなマネキン南かほる孃それが又とてもすばらしい愛嬌で皆樣にお目見得しようといふのです、今大連の人々の話題の中心になつてゐます。皆樣おさそひ合せて是非おいで下さい、所は大山通り林洋行、時は本夜午後七時より(御買上の方樣には粗品進呈)

海の唄

『四三』

仲木貞一作　林唯一畫

手紙のぬし（十五）

◇ヴアラエテイ

5ジャズ・ダンス——くちづけ！

急に舞臺が明るくなつたので、和雄は顔を上げると、プログラムが、こんな見出しで貼出してあつた。

和雄は直ぐ、先刻、月枝から貰つたプロを見た。

最上千夜子、室町龍子さいふ踊で出演者の名が書いてあつた。

忽ちけたゝましい開幕の鳴鈴が鳴つた。するくくと輕く開幕されていくと、レヴユーガールの薄桃色の肌が、緑と菫色の強い面も互に交錯する照明の中に、天女の如く踊り狂ふ情景が展開された。

ジャズに合せたステップの鮮かさが和雄の心に何か知れない永遠の鐵をまき散らした。

踊も踊りながら、時々、月枝の艶い甘い笑つた視線が、和雄の方に向けられる時和雄は限りない幻想に酔ふのだつた。

「あーも美しい女に踊るものかしら……」

甘い熱を含んだ彼女たちの身體からまき散らされた餘香に、酔はされた男の悲鳴である。

「今夜、どうしても一緒に踊らうそうして、若し月枝が、自分と同棲してくれるなら、永久にそれを誓つてもいゝ……」

和雄は確に自分に云つてみた。そして、勢ひに過ぎて昂奮の世界に飛び込んで行つた時のやうな懊惱を輕く胸に抱きしめた。

それから十分と經たないうちにそのダンスは終つて、月枝は例の黒のオーバーに深く襟足を埋めて和雄のゐる二階へ上つて來た。

「どうも、お待ち遠さま！出かけない？」

月枝の視線は、無言のうちにそう呼びかけてゐた。

和雄は、この舞臺に、いろくの記憶に富んだ場面が見出されるので、もう少し見てゐたいと思つたが、月枝の促すまゝに階段を下りて、劇場へ出た。

射るやうな月の光が、公園の樹間を透して二人の膝合ひから踊らしてゐる。

もう十一時も晩いのさ、寒さで、公園は餘り人通りもない。だんくく歩いて來ると、方々の活動館がハネて、そこへ勤めてゐる人達が一かたまりになつて、時々、笑聲が夜空に聳え上るのが聞えた。

「どう！オリエントでも、マンハツタンでも飲んで行かない？寒いから……」

電車通りへ出ると、月枝は然う云つて和雄を見た。

「然し、もう遅いから……」

「いゝぢやないの。圓タクが

な程あるんですもの！——今日、月給を前借りして來たの。だから御心配なく……」

前借りと聞いて、和雄は一寸意外に思つた。

「ね、一杯やつて行かない。これぢや寒くつて仕方ないもの……」

カフエーオリエントの前まで來ると、月枝は、和雄のマントの裾を掴んで歩かせなかつた。

「いらつしやいませ！」

女給たちの愛想よい聲が一度に湧き起つた。

テーブルに着くと、月枝は訊ねた。

「どう、さつきの踊のステップ……？」

と、云つて、和雄の權威を覗いた。

「素的でした。第一照明がいゝからステーヂが榮ますねえ」

と、和雄は初めて踊るやうな笑ひをした。

「サンキュー。貴方だけよ、さう云つてくれるのは……」

と、云ひながら、和雄に握手を求めた。温かい感觸が電光のやうに和雄の心を叩いた。

オリエントで、二人は二三杯づゝカクテールを飲むと、間もなく外へ出て圓タクを呼び止めた。そして月枝は先に飛び乘つた。そして、和雄が這入つてくるのを待ち兼ねるやうに、和雄の兩手を引つ摑んで、自分の横にかけさせた。

「一寸、とてもいゝ氣持だわ……」

月枝の腕が、蛇のやうに和雄の首に捲きついてゐた。

滿洲日報
(明治四十年八月二十五日第三種郵便物認可)
發行所 大連市東公園町 滿洲日報社

奉天派の關内出兵を極度に恐れる南京派
張氏の和平通電をも喜ばず
遂に重大危機に直面

【上海特電三日發】南北戰局はその後大なる變化無く南方派政客の間には張學良氏が事實上北方に加擔して平津地方に出兵するに至るべき可能性充分ありとし南方派にとり目下重大危機が迫りつゝありと觀測してゐる、卽ち南方は曾て張學良氏に對して平津地方の地盤讓渡を約したことあり、又過般の馬廷福事件後、閻錫山氏から同樣の申し出で北方政府參加を勸誘した事實あり、張學良氏は南北双方に從ふことを口實に出兵するに至るべきことは極めてあり得べきことで、而も過般の馬廷福事件以來南方に對し惡感を懷いてゐること、南軍の勢力が平津地方に及ぶことを喜ばざること、何れの一派も最後的勝利を占めることを欲せざること等の點より出兵を斷行するさせば表面は兎も角事實上は北方加擔となり時局に重大影響を及ぼすに至るであらうといふのである、而して若しも張學良氏にして出兵せずとも事實上北方に味方して和平通電を發するここにもならば、北方は勿論南方の政客もこれに贊意を表せざるを得ざるに至り、蔣介石氏にしてこれに反對せばその立場は失はれるに至るべく、かくて何れにしても張學良氏の關内出兵か和平通電かによつて南方は重大危機に陷るさいつてゐる

北方政府の樹立式
來る十日頃中海で擧行

【北平特電三日發】政府組織のお膳立が出來上り閻錫山氏から本日黨部に對し近く北平に赴くとの通知あり一兩日中太原を出發のはず政府組織及び政府主席の就任式は十日頃北平中海河北省政府で行はれるはず

汪氏石家莊行中止

【北平三日發電通】汪精衛氏は昨夜出發準備完了後閻錫山氏より卽時赴平する旨の電報に接し石家莊行を中止した

政府組織 法規起草
委員を決定す

【北平二日發電通】二日午後六時より懷仁堂において擴大會議臨時會議開催、汪精衛氏主席の下に政府成立に關する諸般の關係事項を協議の後左の事項を協議決定した
一、第三次全國代表大會組織法起草委員に陳公博、鄒魯、白雲梯等二十五名を擧げ同時に右五名の代表を大會準備委員とす
二、約法起草委員に汪精衛、鄒魯、陳公博、顧孟餘、張知本、茅祖權、冀貢泉の七名を擧げこの外民間より專門家六名を選び委員はいづれも卽時起草に着手し短期間内に擴大會議に附議することゝし午後八時散會した

汪氏の手で新政府を組織
閻主席の代理として

【北平特電三日發】北方政府の政府委員として閻錫山、馮玉祥、汪精衛、李宗仁、唐紹儀、張學良、謝持の七氏を推薦したが、張學良氏は未だ明瞭なる回答を與へず、唐紹儀氏は承諾の返電を寄せたが當分はこれを發表せず、なほ閻、馮、李氏等は軍事多忙のため來平不可能で結局汪精衛氏が閻氏に代り政府主席代理となり新政府を樹立する模樣である

奉派から四部長
各部長は大體決定濟

【北平特電三日發】新政府は北平中海の河北省政府を使用することに決定した、なほ十一名の部長は二日大體決定濟みとなつたが閻錫山氏は財政、交通の各部長は山西側から出すことを主張し黨部はこれを容認し奉天側は外交の顧維鈞氏、海軍の沈鴻烈氏、および滿蒙和氏の教育部長または北京大學校長、羅文幹氏は某委員會長といふ振當で奉天派から四名の部長級が出る筈である

新政府組織條例

【北平特電三日發】北方派の發表した國民政府組織條例十六ケ條は左の通りである
第一條 國民政府は建國大綱により革命の三民主義及び五權憲法に基き中華民國を建設す
第二條 國民政府は中華民國の對外代表なり
第三條 國民政府に中央黨部より推薦せる委員七名乃至十一名を以て組織し主席を設く
第四條 國民政府內に左記の各部を置く
外交、內政、財政、交通、衞生、陸軍、海軍、教育、工商農礦、郵政、國營實業部
第五條 各部長は國民政府委員會にて決議し中央黨部の同意を得て之を特任す
第六條 國民政府會議は左記二項に分つ
(一)國民政府委員會會議は國民政府委員を以て之を組織す但し各部々長は會議に出席する事を得
(二)各部聯席會議は各部の部長を以て之を組織し國民政府委員會主席を以て主席となし各部々長は會議に列席する事を得
第七條 國民政府は中央監察院を組織し、單獨に監察の職權を行使す、該委員は中央黨部より五名乃至七名を推薦して之を組織す
第八條 國民政府は軍事委員會を設置す
第九條 國民政府は高等法院を設置す、該院長は中央黨部より推薦し國民政府の同意を經て之を特任す
第十條 國民政府は法制委員會を設置す
第十一條 國民政府は官吏懲戒委員會を組織す
第十二條 國民政府は考試委員會を設置す
第十三條 國民政府は蒙藏委員會を設置す
第十四條 國民政府は僑務委員會を設置す
第十五條 國民政府各機關の組織は別に之を定む
第十六條 本大綱は中央擴大會議を經て決定し公布の日より效力を發生す

出馬説を打消す
別府の張宗昌氏

【大分三日發電通】別府に在る張宗昌氏は閻錫山氏より三百四十萬元送金し來れりとの報に對し氏は語る
その噂は全く虛報である、自分としてはこの際行するのは本意でなく何時か蹶起したいと思つてゐるが今は時期でない南北兩派より自分を引出す樣に傳へられるがそれは噂で自分は自分の考へがあるまあ當分溫泉に浸り大いに靜養する積りである

不景氣打開協議
政友會の聯合會議

政友會の全國經濟調查隊各班の報告書は既に森幹事長の手に提出されて居るが犬養總裁も卅日歸京したので一日午後三時より犬養總裁邸において各班首腦者と幹部との聯合會議を開いた(寫眞は向つて右より松岡、三土、犬養、その後が床次、望月、元田、山本(悌)鈴木、鳩山、秋田清、川村の諸氏)

けふ追窮質問戰に
奉答文提示要求か
樂觀し得ぬ樞府形勢

【東京特電三日發】樞府は統帥權問題につき鋭いメスを突きつけ財部海相の答辯から遂に政府をして窮地 に陷らしめたといはれてゐるが更に三日の審査委員會では引續き河合、荒井の兩顧問官が立つて追窮、次いで久保田顧問官が立つて追窮の鋒鋩を向けることになつてゐる殊に統帥權問題に關しては軍事參議會の内容に對し深刻な質問を試みるだらうと期待されてゐる從つて財部海相が矢面に立つてこれに應戰することになる譯であるがこの問題の中心は
一、財部海相は全權として調印しながら條約兵力量の國防に及ぼす缺陷云々を認むる決議に同意したるは何故なりや
一、軍事參議官會議の内容に直接の關係なきも海相は若槻全權の請訓後海軍省に電報して所謂日米妥協案は國防に缺陷を及ぼすとて反對の意見を述べてゐるながら條約に調印したる理由如何などを擧げて痛烈に追ひ詰め審議の進行に伴ひ問題の奉答文提示に觸れる作戰であるらしい、この奉答文問題は樞府としては統帥權問題に結論をつける意味からしても亦條約兵力量問題審議の上からも是非ともその提示を主張することになるらしい形勢である、一方政府では問題の焦點 となれる統帥權問題を今後如何にしてこれを切拔けるかは大に注目に値するが、何れにしても目下の雲行は政府側にとつて頗る險惡な空氣が樞府側に漲つてをり樂觀を許さぬものがある

回訓當時の政府の態度糺明
矢面に立つ濱口首相

【東京特電三日發】一日の樞府審査委員會の情勢に鑑み樞府側では當日河合、荒井、金子各委員から統帥權問題を中心として政府の回訓當時 の事情、殊に當時の濱口首相兼海相事務管理の兵力量決...

條約案通過を確信
民政黨幹部は依然樂觀

【東京三日發電通】ロンドン條約審議に關する樞府の形勢について民政黨幹部は依然として少壯派の憤慨を抑へ靜觀主義を執つてゐる卽ち同黨の見る處に依れば樞府の狙ひ處は第一は統帥權干犯問題であり、第二は補充計畫問題であると思はれるが、統帥權問題は三日の論議が山であらう、これに關して樞府側では回訓案の決定に當り政府は軍部との完全な一致を見得ざりしも國際的並びに財政的見地から押し切つて政治的解決をなした事を政府自身に承認せしめ統帥權干犯の論斷を下したいのであらうが政府側では樞府の豫期に反し積極的に軍令部長の同意は得なかつたが消極的にはその同意を得たものであり從つてその手續きについては何等非違なき旨を述べてゐる、これにつき若し樞府の諒解を得難しとするも政府の確信には何等變りなき答であるから要するに見解の相違となるに過ぎぬ又補充計畫國民負擔の輕減についても政府に成案あり これ等に相當質問はあつても決議又は警告附で通過疑ひなしと見てゐる

財部海相の如きも僅か電文の交渉による片言隻語から推して意見の一致を見たものとなしてゐるが、その間かゝる重大問題に對し何等積極的意見の一致と見るべきものがない樣であるこの點については樞府として更に政府の態度を糺明してその責任を明かにし以て統帥權問題に關する遺憾なき解決をなして置かねばならぬとし伊東審査委員長は二日午前九時二上書記官長を自邸に招致して今後の

質問方針
につき種々打合せを行つたが平沼副議長もまた政府組問の要點及び方法につき審査委員長に注意を與へるため二日午前十時伊藤委員長を訪問、約一時間に亙り協議を重ねた、この結果三日の委員會は更に峻烈なる質問で濱口首相が當時の事務管理として相當苦境に立つものと見られてゐる

樞府側の意見は政府の答辯は徒らに言辭を弄して眞相を吐露せず兵力量決定に對しても濱口首相の如きは僅かに「意見の一致を見たと認める」とのみ説明して加藤前軍令部長の反對的態度に對しては

後日に至
つて變化を見たものであるとなしてゐる、財部海相は當面を瞞着し去らんとするが如き態度で又軍令部長との交渉經過につき相當突き込んだ質問を行つたが樞府側は政府の態度を統帥權問題に對する手續きならびに財部

明年度豫算編成遲る

【東京三日發電通】ロンドン條約の批准が何時行はれるかは海軍補充計畫並に減税問題に關聯して明年度豫算編成に密接なる關係をもつものであるが樞密院の現在の情勢から見れば九月中に批准を終る事は絕對不可能と見るの外なく若し...

藏省では軍縮剩餘財源に關係なき部分卽ち歲入見積り並にこれに基く既定經費節約案の作成を行ふ方針であるが財政計畫上建艦保留財源と一般財源は歲入科目の內で可分的に取扱ふ事が出來ない立前になつてゐるので樞府側の批准が遲延する限り明年度豫算編成は例年になく遲れるものと見られてゐる

本月上旬中には當面の案件決裁
仙石總裁が視察前

仙石總裁の沿線視察は大體來る十日大連發と決定の模樣だが目下審議中にある滿鐵業務改善及傍系會社問題の全部を解決の筈である業務上の改善は社の內規に屬することであるが傍系會社は各方面に相當影響を及ぼす關係から決定次第出來るだけ早く發表されやう、本社百五十圓以上の高級社員を比較的多數持つてゐるところは國際、大汽、滿洲ドック、滿電等であるがそれだけに勇退社員も他の傍系會社より多いのは事實のやうである、傍系會社中重役で勇退する者は大汽の駒澤雄氏が確實視されその他の重役は現在のまゝ動かぬものゝ如くである

奉派の首腦
日本大演習陪觀

【奉天特電三日發】我國の秋季大演習には例によつて張學良氏は陪觀者を派遣する事になり軍令廳長王樹常、航空司令張煥相、顧問張學銘三氏が選定されたと

日滿連絡會議
來月上旬大連で

【ハルビン特電二日發】日滿旅客貨物連絡會議は日本の提案により大連にて十月八日から開き、二十日に終る豫定成り會議に提案と代表の氏名を交換するに決定した

小幡問題の解決
北平各方面で要望

【北京二日發電通】新政府は外交部長に顧維鈞氏が据る事は外交團でも是認されてゐるが政府成立派直ちに列國に對し正式に承認を要求し來り爾後頻繁なる外交往復が行はれるであらうと見られてゐる然るに各國側は英米佛を始めその他何れも公使來任し居り獨り最も關係深き日本が公使缺員の儘では甚だ不體裁であるからこの際小幡公使問題を取急ぎ解決すべきであるとの聲が各方面に起つてゐる

滿鐵明年度事業費
三千萬圓以內か
來月初旬審議を開始

仙石滿鐵總裁は沿線視察前に豫算中の諸問題全部を解決し十月早々緊縮を終へて歸社、直に昭和六年度の事業豫算審議を開始するらしく經理部査定では來年度事業費豫算は五年度の繰越金を入れて三千二三百萬圓見當だが新事業の一般豫算と減收の今日から推して三千萬圓を割る緊縮振りを見るのではないかと觀測されてゐる

露の電化は着々實行
青木晋氏の談

動力會議にはソウエートからも二名の代表者が出席しポスターを持つて來てゐたが、宣傳するために十二分の準備ができてゐる點は感心だ、レーニンの電化政策も着々實行してゐるやうだが、却々計畫通りには行かない惱みがある(ハルビン特信)

木村理事挨拶
滿鐵交涉部長木村理事は關東廳その他に着任挨拶のため三日午前九時山崎渉外課長の案內で赴旅同日午後歸社した

歐亞連絡列車から
機械化になやむ米國の農村
農大敎授笠森氏の歸朝談

歐米各國の農業經濟と農村の生活を視察し一日歐亞連絡列車で歸朝着哈した東京駒場農科大學敎授笠森傳繁氏とベルリンで開催された動力會議に出席した横河電氣製作所技師青山晋氏の土產話

米國の徹底した機械化は農村の生活を脅威する傾向あり、この點は何等か緩和せねばやがて困る時代が來るだらう、然し農業者から消費者に近接する運動は却々組織化されてゐる、一例を示すとロサンゼルス近郊に五百餘戶の青物栽培チエンストーアが設けられてあつて農園から直にこのチエンストーアにかけ小賣人の手をぬいて消費者に賣捌かれて行くこの結果は農家の利益を多くし日本の如き仲買小賣人の少いだけ農家の自立、自給自足が發展してゐる、この點はフランスが一番よく進歩し五〇%の農產國として七割までは農村が繁榮し日本の如き「農村の衰亡」といふ嘆聲は何處にも聞えない、ベルギー、オランダですら立派に自給自足してゐる日本の農村も現在の狀態では中間者の搾取によつて衰滅をする外にない、從つて農村の救濟策は如何にして農產物を直接消費者に消化せしめる方法を執るかを先決問題としこれには米國の如き組合組織によつて農家が街頭に立ち作物を賣捌くことも一方法である

仙石總裁の沿線視察
來る十日頃出發

仙石滿鐵總裁の滿鐵沿線及接續社外線視察は大體來る十日頃大連發の豫定だが村上鐵道部長の沿線視察も大連發は總裁一行と同日になる由

婦人公權案原案の內容
住居制限は一年以上

【東京三日發電通】內務省が政府案として來議會に提出する婦人公民權案については過般來地方局にて市制、町村制、府縣制及び北海道會法中の關係條文改正について審議中であつたが二日漸く全部の審議を終り改正原案を作成したので愈々兩三日中に法令審査會の議に附して審議を決定する運びとなつた、今回の婦人公民權案は既報の如く男子と同一條件により市町村會議員に對する選擧權及び被選擧權を附與すると共に市町村の名譽職たる市町村長、助役、市參事會、市參與、選擧投票開票立會人の資格をも附與せんとするもので近く府縣會議員には及んでない、尙この機會に公民權資格の住居制限二年以上を衆議院議員選擧法と同一に一年以上と改正する事となつた

走馬燈
知坊生

人材登用論(上)

最近發表された內國地方官の異動を見るに、異動その者についての各種批評はあるが、特に植民地在勤者の拔擢に注意したらしい當局の措置は、好個の一新例として推稱するに足りる。

◇

無論官吏の異動は絕えず行はれて來たが、定例的に植民地から內地へ昇級登用された事は極めて稀であつた。政變毎に內地からの轉任者は相當ある、併し此新來者に依つて狹められた現任者の前途は、その度每に心細さを彼等に增させた。殊に永年植民地に勤續した者や、植民地から植民地へ轉々した官吏は、中央政界に特殊の關係なき限り、再び母國の官界に顏を出し難い、この躊躇を與へられ、其結果在任地における功績よりも、免官後の落着き場所を、植民地の事業界、就中官業界に求め、甚だしきは在官中或種の事業會社と默契を結び、體能く保身の礎地を造つた者さへ少くない。

◇

これは官吏をも一個の植民と見て無理からぬことのやうだが、その爲にこの位植民地を官僚化し、民間の自治心を弱めたであらうか、滿洲には殊にこの傾向が濃厚で、各種の官營事業機關は勿論、市の名譽職に至るまで適材よりも肩書に重きを置き、當局者もまた陰にこの風潮を獎勵したやうに見える。就中沿線各地の官營取引所の如き、それが好景氣時代に濫設された機關であるだけ、財界變動後無用の長物視されて居るに拘らず、その形骸の維持にこれ力め、口善惡なき京童をして、古手官吏の落着け場所に過ぎぬと噂させて居る。

◇

植民地建設の爲に努力した者には、官界と民間とを問はず、成るべく彼等の土着心を獎勵するの必要云ふ迄もないが、如何に經濟組織の深い人でも、官吏には官吏の型がある。就中永い間に造られた第二の習慣性もあつて、さうした閱歷だけで勝手の異つた營利機關內に押込める譯に行かない。勿論其間には卓越した材能を有し、之く所として可ならざるなき英物もあるが、その點の認識を無視して、階級的に推輓採擇するのは公論でない、それは恰も民間に名を博した商工業者を、卒然行政官の位置に据ゑても、容易に政務の實績を擧げ得ないのと同樣である。

◇

理論からいへば今日の立憲國においては、朝野官民といつた區別は、個人の性格材識に俟たるべきでない、しかし官吏もある意味の專門職業であれば成るべく進路をその經驗の上に求めさすのが、得策であり又人情の自然である。隨つてこれが爲に英材の前途を拘束するか否かは、因つて及ぼす影響が至大である。それが今日までの滿洲官界に缺けて居た爲めに、殆んど高級官吏の宿場のやうに見られて居た、且それ今後の日本は內政のみの整革では富强の基を据ゑ難く、國民の餘力を海外に伸張させねばならぬ。

◇

而して國民の注意を外に轉ぜさすには、內國の地方行政官に、海外事情についての智識經驗ある者を採擇登用して、民意の伸張力を成るべく順調に明確に誘掖指導するものであらねばならぬ。換言すれば內における行政事務家をして、海外各地の事情を學ばしめると共に、國外在勤者を拔擢して內政上に新生氣を注吹せしむべきである。この意味において吾人は今次の地方官異動に現れた傾向を歡迎し、更にこの傾向の助成によつて、植民地官界における沈滯氣分を一洗せしめんことを切望したい。

大觀小觀

張宗昌氏、乘り出さぬといふ。彼もやはり時代といふものを知つてゐる。

◇

尤も張氏のみならず、現在は各方面に飛びつゝあるは事實、南も北も、東も西も油斷はならぬ。

◇

汪精衛氏、石家莊に閻錫山氏を訪問し、政府樹立の相談をするといふ。戰線に勝たれば、なかなか氣勢あがらず、寄合世帶の統制にも骨が折れる。

◇

市議補缺候補、缺員六人とあるのに、石原の倚の子の如くなかなか出ぬ。間際になつて一時に名乘り出すか。それも惡くはないが、市民一般に氣乘り薄は困りもの。天高く馬肥えんとするのに。

人事

▲三宅光治氏(關東軍參謀長)暑休來滿中の令孃見送りの爲め四日同夫人と共に旅大往復
▲安部磯雄氏(社民黨黨首) 三日出帆ばいかる丸にて內地へ
▲安部民雄氏(デ杯選手) 同上
▲太田芳郎氏(同) 同上
▲吉谷吉藏氏(滿銀審查課長)同上
▲君島淸吉氏(勞動會議政府代表)同上
▲同志社女子專門部生十五名 同上
▲大阪府立農學校卅三名 同上
▲神田鳥取縣知事 三日各所歷訪六日離滿につき暇乞ひをなす

はるぴん丸
四日午前八時大連港外着の豫定

天氣豫報
四日(南東の風)晴後曇

各地溫度

	十一時	昨日最高
大連	二五、二	二八、〇
旅順	二六、八	二八、八
奉天	二九、〇	三〇、八
長春	二八、八	三二、三
營口	二九、八	三二、一

滿潮	干潮
午前八時四十五分 / 午後八時五十五分	午前二時五十五分 / 午後二時五十分

侠艶一代男 (45)

米田華紅作　伊藤幾久造畫

お千賀の行方(一)

釣瓶落しの秋の陽が内藤駿河の邸の廣大な森に殘映を留めて、あたりにはもう夕闇が濃く迫つてゐる暮六つ近く。

四谷傳馬町通りから鹽町、大木戸の方へ一軒々々に大きな商店を訪れては、行商して居る三人連れ一人は旗本抱への定火消、がえんと呼ばれる仲間風の素肌へ法被一枚を引つかけ、朱をいれた文身が腕から腹、腿へかけて一面のいなせな若者で、肩へ絞の手拭をかけ天秤で紙よりの錢差、山と束にしたのを挑いで、その後からは肩代りの同じがえんが法被姿の草鞋ばき、もう一人は戸毎に御用を利いて歩く小商人風たが、どこか遊人らしい口の利きかたをしてゐた。

「へえ、毎度御贔負を頂きます錢緡賣でござえます。どうかお求めを願ひます」

今々と家中の番頭、手代、小僧まで總出で、店の取り片づけ、大戸を引かうとしてゐる夕暮時の混雜の呉服屋。その土間へのつそりと這入つたのは件の小商人風の男で

「殘りもので、お安く致して置きやすよ」

外では、二人のがえんが荷を下した儘で、何やら笑ひながら話してゐた。

「錢差かえ?、また買ひましやうよ」と、年配の番頭が面倒臭さうに、大きな眼鏡越し、ジロリと帳場から睨んで斷つた。

「へえ、殘りものです。どうかそんなことをお仰られえで、お買ひ下せえましよ」

「また此度にして頂きましやう」と、素ツ氣ない言葉を投つけた。

「いえ、此度と申しましても、手前どもは御當地が火消區域の旗本お抱のお役割が、お心安だてにお願ひ致して居りますもので、またいつ來るやら判りませんので……」

「へえ、どうか、お求め下せえましよ」

「いえ、家は昨日澤山に錢差は求め[illegible]ましやう」

「まア、さうお仰らずに買つてやつてお呉んなせえ。これもお役割!」と、その男は表へ聲をかけて

「錢緡を持て來や!」

「へえ」と、外のがえんは待つてましたと許り、穴開きの寛永錢をさす紙よりの十緡を一把とし、十把を一束としたのを、三つか四つほど擔んで店へ這入つてきて、ジロ〱と凄い眼で、薄暗くなつた家中を見廻しながら「毎度、有難ふごぜえますよ」

「これが一束百文に勉強致して置きやす。幾束ほど置いてまゐりませうか?」

「お前さんがた、そ、それは亂暴ではございませんか?幾らお旗下衆がお抱へのお役割さんがたが内職に作つた錢差でも、押し賣りは御法度でございますよ」

「な、何だッ?」と、がえんがクルリと袪袯の尻を跳ねると、どつかり上り框へ腰を下し、首だけ後へ捻つて「やいッ!今のことを、もう一度、言つて見やッ!」

「へえ、何も手前は、お前さんがたのお氣に觸るやうなとを……」

「矢釜しいやいッ!唐變木奴ッ!俺ッちによくも押し賣りの汚名をつけやアがつたな。いつ手前は押し賣りされた。いやさいつ手前は俺ッちの錢差を無理強に買つたんだ?がえんの飯を喰つてる俺ッちが、手前なんかからそんな汚名を着せられて、この儘、仲間へ顏向けが出來るものか?さアその黒白を明らかにしてみせてくれ!事と場合によつちやア、屋根の上へぺんぺん草を生やしてくれるから覺悟をしやアがれ!」

腹たれ口の啖呵を、あたり構はずにわめき立てた。

「そ、それは飛んでもない言ひ懸りと申すものでございます」

番頭は、相手が惡いので、顏色を變へ、しどろもどろな返辭をした。

「言ひがゝりッ?野郎ッ!出ろッ!こゝへ出て來いッ!もう勘忍がな[illegible]」

がえんがすつくりと立ち上ると恐ろしい權幕で呶鳴り出した。

キネマと演藝

春日宗三郎師 久振りで來連

大阪の長唄宗家杵屋勝吉改め春日宗三郎師は長唄美風會の招聘に應じ去る一日入港の定期船で來連したが、師は大正九年の名人會以來の久し振りの來滿で別項の如く來る六、七日の二日間大連劇場に於ける吉住小之藏芳村伊十之助兩師の合同演奏會に特別出演し八日は營口にて演奏會を催し都合によつては奉天に立寄り歸阪の豫定であるが、二日夜六時半から美風會主催にて電氣遊園登瀛閣にて歡迎會を開き春日師夫妻を主賓に小之藏伊十之助兩師門下及び同好者及び杵屋六寒三郎、田中傳兵衛兩師も出席し吉住師の歡迎の辭に對し春日師を代理して春日後援末廣會幹事長橋本勝巳氏が謝辭を述べ頗る盛會であつた

愈よ今晩限り 須磨浦風と大石出世の一軸 大劇奈良丸の讀み物

初日以來連夜大連劇場に於て好評を博してゐる本社販賣主催滿鐵勞務課後援の一若改め三代目吉田奈良丸一門の浪曲大會はいよ〱今晩限りとなり浪曲ファンより名殘を惜まれてゐるが、奈良丸も連日の好評に酬ゆるため今夜の讀物を變更して大衆向きのものとなし前席「須磨浦風」後席「大石出世の一軸」の長講二席を以て充分に浪曲の妙味を發揮することゝなり非常な期待を以て迎へられてゐるが今夜の主なる讀み物は左の如くである

◀日露戰爭　奈良右衛門
◀加賀の内亂　爲右衛門
◀須磨浦風大石出世の一軸　奈良丸

長唄美風會 演奏會 春日師が出演

當地長唄界の向上發展を期して吉住小之藏師と芳村伊十之助氏が提携して今回創立した長唄美風會にては既報の如く大阪より杵屋勝吉改め宗家春日宗三郎師が來連したのを機會に長唄美風會主催にて來る六、七日兩夜七時より大連劇場に於て合同演奏會を催すが、兩夜の番組は左の如くで特に鳴物師匠の田中傳兵衛氏も第一日は「越後獅子」第二日は「吉原雀」に賛助出演することゝなつた、また宗家の三味線の妙技は既に斯界に定評のあるところで佐吉師以來の麗物として大いに期待されてゐる、會費は一圓五十錢

六日番組

一、寒山拾得　唄安藤乃保留、清水恭二、三味線中村愛子、芳村靜江
二、綱館　唄吉住小之藏、清水恭二、三味線春日宗三郎、春日ゆき
三、多摩川　唄芳村伊十之助、安藤乃保留、三味線春日宗三郎、春日ゆき
四、越後獅子　唄吉住小之藏、清水恭二、芳村伊十之助、三味線春日宗三郎、春日ゆき、芳村靜江

七日番組

一、汐汲　唄清水恭二、安藤乃保留、三味線中村愛子、芳村靜江
二、秋色種　唄芳村伊十之助、吉住小之藏、三味線春日ゆき、上調子春日宗三郎
三、靱猿　唄吉住小之藏、安藤乃保留、清水恭二、三味線春日宗三郎、春日ゆき、中村愛子
四、吉原雀　唄芳村伊十之助、安藤乃保留、吉住小之藏、三味線春日宗三郎、春日ゆき、芳村靜江

噂話

遠山滿の一黨、御大が口八丁手八丁だから座員も負けてゐず何でも御座れで◀小劇場のメンバーは僅か十七名であるが舞臺を見てくれと力み返つてゐる◀ところで二の替りに上演豫定の「靜ケ浦の仇波」を脚色した志野羊吉に電話で頻りにおどかしつけて來るそのことやらぬ前から興行價値がついて終ひ志野羊吉氏「俺はもう知らんぞ」◀目下來連中の長唄宗家春日宗三郎師匠が惡事を働いて廻つたと噂傳されてゐるが◀御本尊[illegible]に覺えがなく火のないところに煙が立たぬと調べて見ると◀春日宗四郎と宗三郎の一つ違ひの間違ひで「うつかり名前もつけられぬ」

ペーブメント

ビールから秋の味覺はカクテルへ、大連でもバーからバーへ飲み歩ける時代がやつと黎明の鐘をつげてゐる、いま大連だけに六つのバーが生れた、一番古いのが磐城町のアカデミ、それから浪速町裏の吉永、連鎖商店に桃山とラッキー、常盤橋のエイワン、最も新しいのが伊勢町の陶雅堂の跡に出來た松本である、そして今人氣は松本に集つてゐるやうである。こゝが六つのバーのうちで最も一番シークだしセットも贅澤ですべてが氣持よく從つて飲心地も爽やかであるらしい。この斬新の松本に對して吉永とエイワンが馴染客で賑ひこの三つが話題の中心になつてゐる。一番安いのは吉永が通相場らしくエイワンは主人が自慢のシエーカーをふるひ松本はサービスが評判、酒の種類は古いだけに吉永が第一でエイワンと松本は上海物をつかはぬのが自慢。チーズはエイワンだけがナイフをつけて出してゐる。アカデミは最近忘れられた形で桃山はモダムが人氣をよびラッキーは殆どクロネロカフエーにゐた女給を置きバーといふより大連式のカフエーで時々レコードをかけて女給とお客がダンスをしてゐる。

ラヂオ

大連 JQAK 九月四日午後七時

◀童話「雨乞ひ」山田健二
◀謠曲「揚貴妃」梅若流渡邊三作
◀清元「助六」淨瑠璃清元延榮龍、三味線作野夫人
◀尺八「霜夜」一部森介山、二部磯田汐山、三部貝通丸師山
◀支那唱「打花鼓」唱馮筱翠、師付王振泉
◀職業紹介事項

東京 JOAK 九月四日午後六時二十五分

◀講演(一)義人田中正造の一生と其事績 栗原廣三郎(二)田中正造の人物と遺徳 芝貞吉
◀義人報恩和讃 唄萩原リキ子、石原ナカ子、太田トメ子、木村イチ子、尺八高田久懲、笛奥澤ヨシエ、鐘永井澄子
◀小唄(一)士農工商(二)茶の科(三)繪日傘(四)通覽(五)水鳥(六)濱風 唄小唄幸兵衛、三味線同幸子、同同幸竹葉
◀常磐津「心中浮名の鮫鞘」淨瑠璃常磐津三登勢太夫、同一尾太夫、三味線同菊丸、上調子同三之助
◀連續講談「磯畑伴藏」太田貞助

第二十一回 滿日勝繼碁戰

(高本氏二回勝三回目)
二段 大礒義男氏
四子 高本吉郎氏

白	黒
○六一ト十二	●六二ハ八
○六三リ三	●六四ト九
○六五ホ二	●六六チ三
○六七ハ三	●六八リ二
○六九ヌ三	●七〇ヌ二
○七一ル三	●七二レ六
○七三タ六	●七四タ五
○七五レ七	●七六ソ六
○七七カ六	●七八ハ十二
○七九ロ十二	●八〇ハ十四

▲篠原四段講評　黒六十四は(い)に捕け白(ろ)黒(は)白(に)黒六八に打つ方實利なり、黒六六は(ほ)に尖み白(へ)黒(と)白(ち)黒六六白(り)黒(い)白六九黒(ぬ)に打つて十分ならん、黒七二は(ろ)に打ち白(を)黒(わ)黒(か)白(よ)黒(た)白(れ)黒(そ)白(ほ)と打たせ黒(つ)に打つべし

—【四】—

奈良丸浪曲大會
讀者優待割引券
この券持參者に限り特等一圓七十錢　一等一圓四十錢　二等一圓
主催 滿洲日報販賣部

(日刊)
昭和五年九月四日
滿洲日報
(木曜日)
第八千七百四十一號
(一)
滿洲日報
業務
物品販賣業、問屋業、運送業、保險並に船舶代理業、造船業及附帶事業
滿洲出張所所在地
牛莊、安東縣、奉天、長春、哈爾賓
三井物產株式會社大連支店
大連市山縣通百八十二番地
電話(代表)七一〇一番
取扱品目
滿洲特產物、麥粉、石炭、コークス、鐵道用品、各種機械、小野田セメント、燐寸、紙類、麻袋、木材、硫安其他化學肥料、酒精其他工業藥品、金物鑛石類、織物類、鹽、海產物、砂糖、罐詰類、カルピス其他食料品
資本金 壹億圓(全額拂込濟)
積立金 壹億壹千壹百五拾萬圓
本店 橫濱市
支店出張所
橫濱正金銀行大連支店
大連市大山通二番地
亞鉛引平板
登錄商標
亞鉛引浪板
地球獅子牌
品質本位の地球獅子牌亞鉛引平浪板
營業課目
鐵材、鋼板、管、棒、「エ」「コ」異型鋼、眞鍮、板、棒、管、線、燐銅
亞鉛引針金、平浪板、釘、鐵力板
建築材料及耐火煉瓦
錫、鉛、亞鉛 ニツケル、アンチモニー、ハビツトメタル
電信、電話用機械及各種材料
本店 大連市監部通四十九番地
株式會社 大信洋行
電話代表六一四一番
支店出張所
奉天 哈爾賓 長春 錦縣 天津 大阪市
樽は吉野の甲付樽よ
酒は伏見の高級銘酒
エイクン
呑めや愛酒家エイクンを!
大連 辻利ビル內
電話 ③三八七 ④七七六番
〆切迫る
今スグ書店へ申込みあれ!
將棋大全集
空前絶後の大特典付豫約募集
白熱せる特典の內容
【1】全國將棋大會
【2】段級認定證授與
【3】大賞品を贈呈!
詳細內容見本にあり
果然!申込殺到す
名人巨匠の責任執筆になる棋界空前の壓倒的大述著!
第一回配本
二冊出來・選擇自由
初心手ほどき
七段 金子金五郎著
▲本日全國書店一齊配本!
定跡篇 六冊
實戰篇 十冊
木村義雄實戰集
八段 木村義雄著
內容見本
實物書店で御覽下さい。
申込金不要!
東京・神田・錦町一丁目
誠文堂
子供の時から
イオン齒磨
子供に良い齒磨
お口の掃除が肝腎—ライオン齒磨で丁寧に齒を磨きませう
新製中形チューブ入
東京・大阪・名古屋
ライオン齒磨本舖 株式會社 小林商店
型錄送呈
金華號本店
柴田醫院
紫檀細工
日支公司
小兒科專門
今井醫院
電話六〇五〇番
煖房衛生工事の御用命は
高石商會
餅は……餅屋へ
自動車
自動車用品
赤貝揮發油
モビール油
タイヤ
吹付ラッカー塗裝
泰昌洋行
稻垣幸次郎
大連商業銀行
一般銀行業務確實に御取扱可申候
海上火災保險
國際運輸
保險部
沿線各地の御用命は最寄店所へ…
大連市山縣通
電話三一五一番
最新刊
滿洲書籍部
大阪屋號書店
日下齒科醫院

社説

分解作用と奉天側の對策

馬廷福事件は近き殷鑑

新陳代謝、その形骸は或ひは何らの變易なきも、その內容は時々刻々に變改する。これ進化の妙ともいふべく、沈滯せる支那の政局たりとも、この一般原則から例外たるを得ない。表面、何らの變化なきが如くなるも、その實質は常に流れる。少なくとも軍閥は依然として軍閥たるも、その軍閥を構成する個々の人物は、それからそれへと代謝することを忘れてはならぬ。いはゆる支那軍閥の分解作用とは、こゝのところを表明したものに外ならぬ。ある軍閥の棟梁は、依然として替らぬ如くであるが、その聲望力量、必ずしも前日の如くならずといふのがある。すなはち何らかの頽勢を以て、當面脅威の如くに見ゆるけれども、その實質は、風前の燈火ともいふべく、何時、如何なる衝動に際會せんか、忽ちにして土崩瓦解するといふ爛熟狀態に到達してゐるものがないでもない。

△

奉天軍二十三旅長馬廷福が、南方側に買收され、山海關方面から平津に押し出し、南京軍に呼應せんとした一齣は、皮肉にも于學忠氏によつて發かれ、つひに失敗に終つたけれども、かくの如き考へ方は、獨り馬旅長のみでなく、支那軍閥の全將領が、常に抱懷するところのことではあるまいか。彼らが奉天軍といひ、南京軍と稱し又は山西軍、西北軍などといふも要するに國家とか、民衆とか、又は革命とかに共鳴しての從屬關係ではないのである。殊に今日においては、悉くが國民革命軍であつて三民主義を奉ずるものといふことも出來るのである。從つてそれだけ軍閥分立の意義は存在せぬといふことも出來る。すなはち自己勢力の保持、擴張のためにのみ內亂抗爭を繼續する。これを極言すれば、私利私慾のために私鬪するその間に、國家もなければ民衆もないといふ現狀にある。されば機會さへ與へられれば、馬廷福のやうな將領が何人、飛び出すか知れたものではないといふことになるのである。

△

南北の相對峙するや、奉天軍は嚴正中立を標榜した。南北兩軍ともに、奉天軍を味方にせんものと苦心慘憺たるものがあつた。併し奉天は動かなかつた。必ずしも野心なきにあらず、まだ保境安民に徹底せるにあらず、何らかの機會あらば、その野望を遂げんものと狙つてゐたのであるが、つひに奉天側が乘り出すやうな機會は到來せなかつた。そこにまた奉天側の惱みが存するともいはれ得る。すなはち保境安民の鐵則に徹底することが出來ず、東北四省の民衆に彼らの基礎を確立することを敢てしなかつたのであるから、從來からの頽勢を覆へすやうな機會だに到來せんか、脚下に鳥の飛び立つやうな情勢を惹起することなしと誰か保障し得やう。昨今、南方も北方も、共に目的のためには手段を擇ばぬのである。未だ暴露せざる馬廷福は、さすがの奉天軍のうちにも随所にゴロ〳〵してゐるのではないか。靈運つき、馬は獨り槍玉に上つたに過ぎぬ。あらゆる手段方法を以て、抱き込み、切り崩しは嚴正中立の奉天軍に向つて敢行されつゝあるといへる。

△

かくの如き渦中にあつて、奉天側が果して、何時まで現在の嚴正中立を守り得るであらうか。否、嚴正中立を守ることは、必ずしも困難なるものではあるまい。保境安民に徹底し得なかつた結果として、軍閥の基礎が民衆の上に深く固く安定し得ず、軍閥の最高棟梁と民衆との中間にある將領らも、時に或ひは變化を欲し、沈滯せる飽和狀態よりも、何らかの機會あらば、と倦怠を萠し居るところに南北、いづれかの手が廻らんか、そこに大軍閥の屋臺骨に分解作用の起らぬといふことを、誰が保障するであらうか。殷鑑は眼前にあつた。積極的に動くも、また消極的に動かしめられるも、とにかくただ無爲無策にして機會主義に自己を保全せんとするは、いかなる大軍閥の集團といへども至難のことに相違なく、そこに何らかの光明を與へることは、絕對的に必要條件となるのである。支那の動きその動きの渦中にあつて徒らに沈滯することは不可能事である。その沈滯を破り、潛行的に襲ひ來るところの分解作用を逆用せんがためには、奉天側としても、百尺竿頭、一步を進め、須らく主義方策何らの手段によつて、奉天軍に、東北四省の民衆に、活を與へ方向を指示することが、現在の頽勢によつてのみ維持してゐる勢威を確保する所以ではあるまいか。光明面として新銳の氣を吹聽するにあらざれば、潛行し來る分解作用に對抗することは不可能である。この軍閥の分解作用は、或ひは南方軍よりも、また北方軍よりも恐るべきものであるといひ得る。殷鑑は遠きにあるではないのである。

滿洲の陸線問題は議題に上るまい

政治的意味から別個に考慮し 日支電信交涉の觀測

【上海特電三日發】日支電信問題交涉委員に任命された遞信省吉野局長及び隨員その他の一行は本月十日過ぎ當地に到着することゝなつたので來る十五日過ぎよりいよ〳〵本格的交涉が開始されることゝなつた、今次交涉に對する支那側の意向は淡水福州間、長崎上海間、佐世保青島間、大連芝罘間の海底電信線及び滿鐵沿線附屬地より支那街に至る少數の陸上線を回收せんとするにあると傳へられてゐるが今日の實情の下においては、到底不可能にして結局短期間に限り現行協定を繼續有效とするか、又は陸揚權及び警備權にある程度の制限を附することによつて解決を見るのではないかと觀られてゐる、なほ支那側では

滿鐵 沿線陸上線も今次交涉の範圍內に入れてゐる如く傳へられてゐるが事實は支那側においても滿鐵沿線は他に政治的意味もあり、これに別個の考慮を擁ふ用意を有すると稱してゐる模樣で、從つて今次交涉には議題とされないものと觀られてゐる

明年度の歲入減少

一億五千萬圓の巨額に上らん 大藏省の見積案成る

【東京特電三日發】減收を豫想されてゐる明六年度の歲入豫算については、かねて大藏省主計局及び主稅局で第一回の見積り作成中のところ二日漸く出上つたが、それによれば明年度の

歲入狀態 は本年度よりも一層惡化し總體において約一億五千萬圓の巨額なる歲入減を見積つてゐるやうである、これはいふまでもなく財界の深刻なる不況に基く租稅收入の減、各官業收入の減及び印紙收入の減などによるものであるが、その內租稅減收の範圍は何といつても關稅でこれに次いで所得稅、營業收益稅、酒稅、織物消費稅、砂糖消費稅等であり、その他工業稅、取引所稅、清涼飲料稅等も無論相當の減收を見積られてゐる

關稅減收 は緊縮財政政策に伴ふ內地の需要減による輸入高の減少、並に物價下落に伴ふ輸入品價格の低下によるもので、所得稅の減收は事業會社の不振及び個人所得の減少に基因し、また營業收益稅は一般商取引の不活潑に基く減收である、また各種消費稅の減收が國內各方面の需要減のためであることもまたいふまでもない、次ぎに地租は無屆移動地の整理により殆ど增減ないものと見られ、兌換銀行券發行稅は正貨流出に伴ふ限外發行增加見込により若干增收になるものと豫想されてゐる、官業及び官有財產收入は何れも不景氣の打擊を受けて著るしく減收を豫想されてゐるが就中

森林收入 は木材の下落及び伐採方減少のため激減を來す見込だといはれてゐる、今回の見積りは本年七月までにおける過去一ケ年の實績を基礎として今後の豫想を見積られたものであるが、大藏省では更に近く八月分の歲入實績を見て第二回の歲入見積りを作成すべく各種の資料を集めてゐる

明年公債發行額 六千五百餘萬圓

減債超過一千餘萬圓

【東京特電三日發】緊縮以來公債計畫の立直しを標榜し、一般會計においては非募債主義、特別會計では半額主義を執つてゐる現內閣の明六年度公債發行豫定額は左の如くである(單位千圓)

會計別	發行豫定額
鐵道	四〇、〇〇〇
朝鮮	一三、五〇〇
臺灣	二、五〇〇
關東州	六〇〇
計	五六、六〇〇

右の外に交付公債として發行豫定のもの八百四十七萬六千圓を右記に加算してゐるからこれを前記に加算して明年度の公債發行豫定總額は結局六千五百七萬六千圓となり、これに對し國債整理基金繰入(單位千圓)は

一、國債總額の萬分の百十六繰入の分 六九、一二七
一、獨逸賠償金繰入の分 六、三〇〇
計 七五、四二九

で、七千五百四十二萬九千圓が國債償還基金中に繰入れられる計算となり、これと右發行豫定額とを差引計算すれば一千三十四萬九千圓の減債超過の豫定となつてゐる

政友會の臨時大會

來る十六日開く

【東京二日發電通】政友會は二日午後一時より本部に幹部會を開き犬養總裁より各地經濟調査の經過に關しても判る通り今や我國は到る所不景氣である、このまゝ續けて行くことは出來ない、刻々ドン底に落ちて行く國民生活の現狀を最早坐視するに忍びぬ、國民をこの不況から救ふため我々は出來るだけの事をなさなければならぬ、必ずしも倒閣運動のためではない、即ちこの際全國の黨員を招集し直面せる不景氣の現狀に善處するため黨の意志を決定しこれに處するの途を講ずる必要があると提議し來る十六日臨時大會を開いて黨の意志を決定することゝなり二時半散會した

左翼政黨として闘爭力失ふ

勞農黨の悲壯な苦難

【東京特電三日發】勞農黨では大山氏阪にて解消問題が表面化するや細迫書記長が突如解消問題に贊成したので同黨は今や

一、即時解消をなさんとするもの
二、解消と認めるが即時解消を非とするもの
三、解消を非とし勞農黨第一主義に據らんとするもの

に分野が分れ、俄然問題は勞農黨の生命に關するまでに發展せんとするに至つたが、本質的に見て勞農黨は解消論を排擊する理論的根據を持たないので解消論に對する處置について勞農黨常任委員會は殆どそのなす處を知らない有樣である、殊に勞農黨本部では大山氏を始め常任委員中には勞農第一主義を守らんとする者多き模樣で解消派との內部鬪爭は當然激成されるものと觀られ現に大阪の小岩井淨松一派は黨本部に對し脫黨屆を提出したといはれるので細迫氏に對しても何等かの理由を發見して除名の態度に出るものと見られる、しかし解消派を除いた勞農黨には左翼政黨としての鬪爭は最早望まれないので勞農黨は正に悲壯なる苦難に逢着したといふべく解消問題に對する今後の發展は注目される

永井次官が今秋滿鮮北支を視察

來月十四日大連着

【東京二日發電通】永井外務次官は來る七日東京發十一日神戶出帆鹿島丸で渡支上海、南京、青島、濟南、天津、北平、奉天、長春、吉林、大連各地を視察し十一月一日頃京城着約一週間朝鮮を視察し十一月十日歸京の豫定

十一日神戶出發、十五日上海着廿日まで滯在、廿一日上海發南京着廿六日まで滯在、廿七日南京發上海着、廿八日上海發、廿九日青島着卅日滯在、十月一日青島發濟南着、三日濟南發青島着、四日青島發五日天津着六日滯在、七日天津發北平着十一日まで滯在、十二日北平發天津着十三日天津發十四日大連着十九日まで滯在、二十日大連發奉天着二十二日まで滯在、二十三日奉天發二十四日長春着、二十五日長春發吉林着二十七日まで滯在、二十八日吉林發長春着、三十日長春發十一月一日京城着

條約兵力量は負擔を增大

秦政友總務報告

【東京三日發電通】政友會は三日午前十一時より本部に政務調查會を開いたが秦總務は國防三大原則實現の場合とロンドン條約締結後における國民負擔の關係につき明確なる數字を對比して補助艦において條約兵力量に比し三原則を實現する方が代艦建造費において一億四千九百萬圓維持費において八百三十萬圓合計一億五千七百萬圓の節約となる、これによつて見ればロンドン條約の兵力量は國防費の負擔輕減とはならず却つて重大なる缺陷を招致し而も國防上の安全感を動搖せしめ而して著しく短期間暫定的の補充と雖も尚ほ莫大なる經費を要するのみならず結局國防の完璧は期し難い結果となつてゐると報告した

條約廢棄論など野黨の宣傳のみ

三相對樞府策協議

【東京二日發電通】濱口、幣原、財部三相は閣議散會後居殘り對樞府策を協議の結果左の如く意見一致した

一、一日委員會の要求により三關係の條約案說明を印刷に附し委員に配布す
二、昨日は財部海相に質問集中され財部海相は時に全權として時に軍人として意見を述べたる爲めかその意思が委員に徹底せざりし憾みありしも實質的に何等矛盾はなかつた、然し今後は充分警戒を要する
三、次回は政府と加藤前軍令部長との關係、海相の之に對する見解につき金子、河合兩委員より質問が續行されよう然る時は加藤前軍令部長、財部海相の覺書問題、海相事務管理としての濱口首相の措置につき質問を蒸し返すことゝならうが政府は飽く迄加藤前軍令部長の同意ありし事を主張する、又加藤前部長の聲明は回訓案に伴ふ補充方法につき善處すべき事を示したもので回訓案に絕對反對に非ざる事明かである
四、久保田男の質問は統帥權に關するものなるべく延いて奉答文に關聯し財部海相追窮となるから充分愼重な審議を要する
五、最近樞府部內に條約廢棄論が起ると傳へる向あるも反對黨の宣傳に過ぎまい、その論據は條約は軍縮に非ず軍擴を招來するといふも政府は軍擴となるべき補充計畫には贊成せずロンドン會議の目的たる國民負擔輕減の決意してゐるから根據なき妄說である、審議の紛糾はあらうが爲めに政府が難局にありとは思はれぬ

精查委員會 スケッチ

▼…【東京特電三日發】いくら伊東委員長が緘口令を布いても樞府委員會の內容が手に取る如く新聞に書かれるといふので、伊東伯、委員長の威信にも關するとの考へてか三日から樞府の門前に戒嚴令を布き、自動車、サイドカー、オートバイは勿論蟻さへ寄せつけぬといふ嚴戒ぶり、その裏をかいて伊東伯にアツといはせてやらうといふ新聞記者の活動ぶりは凄じいものであつた

▼…精查委員の御老體は酷暑にもめげぬ活動ぶりを見せてゐる、そのおつきあひを喰つた書記官も氣の毒だが、一番可愛さうなのは十餘名の給仕連、委員會の開かれる每に、それ伊東伯閣下だ、それ書記官長だ、それ何委員だと自動車の送り迎へからドアーの開閉、お茶の運びまで手數のかゝること、それで特別手當一文も無しと來てゐるのだから不憫なもの

▼…會議室はカン〳〵に西日を受ける窓を持つ顧問官室、その窓際は政府委員とあつて濱口首相、財部、幣原兩相、矢のやうな鋭い質問に西日の苦熱を受けるところ正に腹背に敵といふところ、それでも財部海相などは少しも暑さを感じないといつてゐるといふがまた哀れな氣もする

北方政府の政策

―農民と勞働者の幸福を圖る― 汪氏、記者團に聲明

【北平二日發電通】汪精衞氏は昨日外人記者との會見において左の意見を發表した、新政府は孫文の抱懷せる主義を實行すべく特に農民と勞働者の幸福を圖る政策を執る考へで農民のため

一、地稅引下
二、未開墾地を農民に分配
三、村落自治の獎勵

を行ひ勞働者の爲めには

一、利益の公平なる分配
二、勞資紛爭を消滅せしめる

方針である、尙新政府は個人企業を保護するもので全部の企業を沒收し若しくは國有に移すものではない

政府組織方針は閻氏承認確定す

覃振氏歸平して語る

【北平特電三日發】太原に赴いた覃振、傅汝霖氏等は今朝歸平して語る

閻錫山氏が北平に來ることに決定し政府組織の方針と各部長の推薦も承認確定した、商震、賈景德、薛篤弼氏等は太原より鄭州に向ひ擴大會議と閻氏との決定事項の承認を求むべく馮玉祥氏を訪れることゝなつた、一方北平では覃振氏等を迎へて協議會を開き政府組織の準備に忙殺されてゐる、更に政府として重大なる約法の制定が目下鄒魯氏、陳公博氏、白雲梯氏、陳樹人氏の外に法律專門家を招きて起草中である

部長、委員の顏ぶれ

【天津特電三日發】北平政府の新部長および政府委員の顏觸れは左の如くである

氏名	部	派
沈鴻烈	(海軍)	奉天派
顧維鈞	(外交)	同
湯爾和	(教育)	同
羅文幹	(司法)	同
梁汝舟	(財政)	山西派
朱綬光	(軍政)	同
賈景德	(交通)	同
薛篤弼	(農鑛)	馮玉祥派
唐悅良	(未定)	同

又政治會議委員は五十名に內定し右の外、覃振、鄒魯、謝持、黃少谷、胡宗鐸、王懋功、鄧家英氏らが擬せられてゐる

共匪神出鬼沒し討伐軍手古摺る

漢口北方不安去らず

【漢口二日發電通】平漢線武勝關を占領せる共產軍はその後廣水の東方三十支里の地點に移動し別働隊は花園の西方二十支里の地點に集中して盛んに附近を荒し掠奪を極めてゐる、之等に對し獨立第十四旅が中心となり討伐に當り居るも共匪の所在は神出鬼沒で常に明せず討伐軍は奔命に疲れたため實績擧がらぬのみか共匪は却つて勢ひを增しつゝあり總勢樂觀を許さない

共匪潛入を嚴戒

【漢口二日發電通】長沙の敗殘兵に交つて共產黨便衣隊の漢口に潛入する者少からず武漢警備司令部はこれ等の潛入を防止するため京漢鐵路方面よりの來漢者に對して嚴重身體檢査を開始し警戒に努めてゐる

長沙共匪鎮撫見込無し

【漢口二日發電通】長沙來電によれば一日正午長沙の北方において約二時間に亙り激戰的に機關銃の音聞えた、市民の恐慌者更に增加し市民は一層嚴重なる警戒を要望してゐるが、何鍵軍は長沙城外十五支里の地點に陣地を布き鐵條網を張りつた防禦に努めゐるも攻勢に出る模樣なく應援の羅霖軍初め海軍に不平の色あり、現在の情勢では長沙の守備は遂に期し難く共匪鎮壓の見込など更につかず、領事館、居留民は所詮引揚の外はあるまいと

奉軍の通州入城は誤傳

【北平特電三日發】奉天派の關內出兵として熱河から平津地方に警備兵を入れるとの風說、殊に北平より四十支里東の通州へは熱河軍到着と傳へられたが右は全く誤報であつて奉天派は依然關內に一兵をも入れてゐない

馬廷福氏等奉天に監禁

近く審理開始

【奉天特電三日發】過般兵變を起さんとして未然に逮捕された馬廷福、陳鼓鐘、孟百學及栗道尹等は既に銃殺されたとの說があつたが事實は北大營に監禁中で張長官より可なり優遇され張氏師總と同時に衛隊に監視されて奉天に護送され目下衛隊統帶部に監禁中であるが近く軍法處にて軍法會議を組織し徹底的に審理されることになつてゐる、一說によると彼等は既に北戴河において一切を自白してゐるので今度の審理は形式に過ぎないとも云はれてゐる

露支交涉促進電命

見込無ければ一先づ引揚げよ 莫全權に對し電命

【奉天特電三日發】露支會議に出席のため派遣されたる莫全權は入露五ケ月餘となるが尚圓滿なる妥協の確立を見ず正式會議開會の期日さへ決定してゐない有樣なのでこの上延引すれば支那側として國際上大なる影響を受けるのみか多大の不利を招くことゝなるので張學良氏は二日莫全權に對し會議開會を速かにロシヤ側に提議し若し容れられざれば一應引揚後日に讓るやう電命した

審議を要する重要諸事項

委員會の範圍とその人選(四)

中央卸賣市場の改善

更に筆を轉じて委員の人選、審議事項および審議方法等に關し一般有識者の要望を傳へると

一、委員會の範圍及び人選

關東廳、大連民政署、大連警察署および滿鐵當局者、商工會議所、市場事業者等に社會事業委員、卸賣人組合、仲買大組合、生產者代表、民間有力者等

二、委員會における審議事項

1、敷地に關する事項
イ、都市計畫及び交通運輸(港灣、鐵道、電車、自動車、荷馬車等)關係をそれ〳〵專門的に考究して敷地の位置を定むる事
ロ、將來の食料品市場の統一を專門的に考究して敷地の所要面積を定むる事
2、卸賣市場建物および諸施設に關する事項
イ、道路、橋梁、鐵道、電車線引込、繫船岸壁および車馬溜場等を專門的に考究してプランを定むる事
ロ、本館諸施設および倉庫、冷藏庫、臨時室等の附屬施設を專門的に考究してプランを樹てる事
ハ、上下水および汚物整理等の衛生施設を專門的に考究してプランを定むる事
3、(A)專門委員會
イ、豫算並に財源の審議に關する事項
ロ、關東廳の補助金に關する事項
ハ、滿鐵會社の補助金に關する事項
ニ、起債若しくは財團法人の設定に關する事項
4、(B)專門委員會
イ、中央卸市場法令に關する事項
ロ、中央卸市場組織の根本方針に關する事項
ハ、中央卸市場の監督取締の範圍に關する事項
ニ、以上各項に關する附帶事項
5、(C)專門委員會
イ、營業者の收容若くは賠償に關する事項
ロ、金融機關の設置に關する事項
ハ、以上各項に關する附帶事項
6、(D)專門委員會
イ、關東州內生產品の賣買方法に關する事項
ロ、同荷造並に輸送に關する事項
ハ、關東州內生產者の金融に關する事項
ニ、以上各項に關する附帶事項

(訂正)本篇は前號記事の前に掲載すべきものを誤つて前後したる段御諒恕を乞ふ

二日の市會議事

市場問題其他を質問

第五十回大連市會續會は二日午後二時三十分から續會、出席議員廿三名、日程に入るに先立ち鈴木議員登壇、白菊町市營住宅の落札に關し落札價格が豫算價額に比較しその差餘りに甚だし、住宅竣成の曉において遺憾なる點なきやと理事者に質問し、これに對し永井助役より工事監督については特別に監督者を派して所定の設計通り竣工せしむるやう嚴重に監督せしめてゐる旨を答へ、次いで有馬議員、社會館にある力行會はその事業を行ふために現在約二千圓の借財を有する由、市はこの借財支拂について責任を負ふや、近年增加の傾向にある大連における內地よりの失業者の流入は貧弱なる豫算の大連市においてこれが救濟を考慮すべきにあらず、寧ろ關東廳として何等かの計畫を爲すべきものと思ふ、市理事者はこれにつき關東廳當局に交涉したる事ありや、これに對し永井助役は力行會の負擔は市の負擔に非ず、從つて力行會の借財を市が辨濟すべき筋合に非ず、失業者對策については關東廳と交涉したる事なしと述べ、次いで立石議員、前回保留の信濃町市場問題につき市役所は市場組合の副申案を重視する傾向あるも、これには種々弊害を伴ふを以て、市自らこれが衝に當る意見なきや、これに對し杉山社會課長登壇し、更に永井助役より本問題については將來研究考慮すべしと述べ、次いで仙波議員と[illegible]の事實につき永井助役との間に數次の應酬あり、次いで田中議員信濃町市場改善問題につき市が在商改善を遲滯せしむる間に市場當業者側より直接民政署長に促進方陳願し居る現狀にあり、その內容は如何と訊し、杉山社會課長これに答辯し次いで日程に入り、今村委員長より[illegible]昭和四年度大連市一般會計同年度各特別會計歲入歲出決算は委員にて愼重なる審查の結果認定せる旨を述べ、これを議案として採決の結果滿場異議なく可決し各委員を署名者に選定、同三時半散會した

五品整理と低資

關東廳に斡旋を懇請

五品取引所大株主津田、伊地知、森の三氏は二日午前十時關東廳を訪ひ西山財務部長と會見して既報五品整理に關する運轉資金四十五萬圓を正隆銀行より低資にて借入したき件につき關東廳の斡旋方を懇請する所あり約一時間にて辭去したが、關東廳としては五品整理上右低資の借入は極めて必要のことであるので、これが銀行、五品の兩者において都合よく交涉成立することを希望してゐるが、然らずして五品の一方的意志にて關東廳がその權限を以て正隆に對し右低資融通を斡旋乃至强制することは曩の龍口銀行整理の主旨に反し從つて正隆の整理を阻止するの結果となるので該件關東廳は右問題には容喙せぬ模樣である

谷外務省課長

奉天丸で來連

【上海特電二日發】通信改約、治外法權問題等のため當地に在つた外務省亞細亞局谷第一課長は本日奉天丸にて大連へ向つた

十五銀行減資決定

【東京二日發電通】十五銀行は二日臨時株主總會を開き資本金一億圓を二千萬圓に減少の件を決定した

政友の財界攪亂陰謀

民政總務會意見

【東京二日發電通】民政黨は二日午後二時總務會を本部に開會富田幹事長から樞府の條約審查狀況につき圓滿に進行中であると報告したる後政友會側の倒閣運動につき協議を行ひ政友會の金輸出再禁止の主張は財界の不安を一層深刻ならしめ延いて金輸出增加を招來せしめて財界を混亂に陷いれんとする陰謀と見るべきであるといふ意見の一致を見た

松田書記官洋行

【東京二日發電通】拓務省管理局松田書記官は歐米諸國の植民地及屬領の原住民族に對する政策及その狀況調查のため二十六日東京發一年の豫定で歐米に赴くが歸途はアフリカ各地を視察調查する豫定である

陸軍對抗演習陪觀者

十月朝鮮に於る

【京城特電三日發】來る十月朝鮮にて擧行さるべき陸軍對抗演習には內地から梨本、朝香兩宮殿下が御來鮮遊ばされることに內定したが又その他陸軍大官及貴衆兩議院議員の陪觀ある筈、その主なる人々は左の通り

上原元帥、金谷參謀總長、多門陸軍大學校長、白川大將、鈴木孝雄、井上大將、杉山陸軍次官、林教育總監本部長(元朝鮮軍參謀長)、柳澤保惠伯、伊東二郎丸子、裏松友光子、土岐章子、三島通陽子、糸原武太郎、北村宗四郎(以上貴族院議員)赤塚五郎、清家吉次郎、氏家清、林七六、木村秀興、牧山耕藏、青木亮貫、淺川浩、田子一民、石崎敏行(以上衆議院議員)

聯盟理事會

五日より開會

【東京三日發電通】第六回國際聯盟理事會は本月十日から開催の聯盟總會に先だちこれが準備の爲め來る五日からゼネバーにおいて開會、日本側よりは芳澤駐佛大使が初めて出席する事となつてゐる、主要なる議題は左の如し

國際司法裁判所規定改正議定書の効力發生の件、外數件

菱刈軍司令官

支那側と交驩

【奉天特電三日發】菱刈關東軍司令官は五日北方より來奉し兩三日滯在の豫定であるが支那側要人と交驩する由

前民政署長惜別

大連民政署では神田前民政署長の離連記念の爲め三日午前署員一同署前において神田氏を中心とし記念撮影を行つた又大連民政署食堂會員一同は神田前民政署長惜別の爲め三日正午同署食堂において簡單な午餐を催し歡談裡に惜別の意を表した

關東廳辭令(二日付)

任關東廳遞信書記(各通) 關東廳遞信書記補 東辰男、西岡肇、[illegible]勤七等 武田利一、藤本喜由、森行藏、奧平正行、矢崎輝男、石神清次郎、濱崎貞輔、中崎靜衛、田中九州男、小松清、龜本清七、宮本高行、山岸治、峰茂清、柿並恭一、示野友貫

任關東廳遞信書記補(各通) (一日付) 埼玉縣警部 八等 鈴木清重

任關東廳看守長 (二日付)

同 通信事務官兼遞信局事務官從七位 藤川洋

遞信講習所庶務課長を命ず

遞信講習所長兼務を命ず 關東廳遞信事務官

任遞信事務官兼遞信局事務官 敍高等官七等 十級俸下賜 從六位 篠原忠男

敍高等官五等

安樂椅子

政局の人、閻錫山氏は趙戴文氏から儒教主義を鼓吹せられてゐるだけに頗る親孝行、五台山下、建安村の閻宅、殊に閻氏の老太々の居室には錢の間といふのがある▲といふのは閻氏の母堂は大の大洋好き、それで閻氏は支那にありとあらゆる現大洋を蒐集し、それを母堂の居室の四壁に貼りつけ大洋の間を作つて母を樂ましてゐるといふ親孝行振りである▲山西人は金ばなれが惡く、北平なども天下が山西人の天下となつてから料理店などは更に繁昌せず、天下分け目の大戰爭があつても山西人は容易に財布の紐を緩めず、濟南が奪回されても現大洋を放り出さうとせぬのは矢張り山西人、その山西人の典型が閻錫山氏に見られる譯である

市況(三日)

株式

後場引(軟弱) 北濱大引は前場引に比較し大株三十錢安、大新八十錢安、鐘紡六十錢安、鐘新八十錢安、東京短期新東も四十錢安を入れたので當市も五品十錢安、新東六十錢安、新豆同事、大新四十錢安、鐘新八十錢安にて大引

◇現物(甲部)

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	七一	七一	七〇	七〇
信豆	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二
新鈔	一四八	一四八	一四八	一四八
銭新	—	—	—	—
永	—	—	—	—

◇現物(乙部)

銘柄	寄付	引
大新	[illegible]	八六四
新東	[illegible]	八六八
鐘新	[illegible]	[illegible]

特產

◇定期後場(銀建) ▲大豆(強調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
九月末	七二〇	七二〇	七二〇	七二〇
十月末	七二〇	七二〇	七二〇	七二〇
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	七二〇	七二〇	七二〇	七二〇

出來高 百十二車

▲豆粕(出來不申)
▲豆油(軟調)單位錢
▲高粱(強調)單位厘 出來高 三千石
▲包米(出來不申)

◇現物後場(銀建)

銘柄	寄付	大引
混保大豆(積込)	七四〇	七四三〇
普通大豆	(出來不申)	
豆粕	二四八〇	二四八〇
豆油	(出來不申)	
高粱	(出來不申)	
包米	(出來不申)	

大豆出來高 十車、豆粕出來高 一千枚

錢鈔

◇定期取引(單位錢)

限	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 期近三百七十三萬

◇現物取引(單位錢)

時刻	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高(銀對金)十二萬二千圓 (銀對洋)六千圓

商品

後場 出來不申

市場電報(三日)

神戶特產(三日)

銘柄	
大豆現物	[illegible]
先物	[illegible]
豆粕現物	[illegible]
先物	[illegible]
滿洲小麥	[illegible]
豆油現物	[illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	五七九〇	五七七〇
大新	四一七〇	四二二〇
鐘紡	一三二一〇	一三一四〇
鐘新	五五六〇	五五四〇
日郵	不申	不申
東新	八九六〇	八九六〇

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東株	一〇二四〇	一〇二三〇
東新	八九五〇	八九六〇
五品當中先	不	申
豆新當中	不	申
豆先	九八〇	不申

大阪綿糸

限	後場寄	後場引
九月	[illegible]	一三一五〇
十月	一三〇七〇	一二九二〇
十一月	一二七五〇	一二六五〇
十二月	一二五〇〇	一二四一〇
一月	一二四六〇	一二三二〇
二月	一二四五〇	一二三三〇
三月	一二三五〇	一二二五〇

橫濱生糸

限	後場一節	後場二節
九月	七六〇〇	七五九〇
十月	七三六〇	七三一〇
十一月	七三〇〇	七二八〇
十二月	七二〇〇	七二四〇
一月	七二〇〇	七二五〇
二月	七二六〇	七二五〇

大阪期米

限	後場寄	後場引
九月	二八四九	二八七五
十月	二四七八	二四九一
十一月	二二八五	二二八九

神戶期米

限	後場寄	後場引
九月	二八五九	二八七九
十月	二四六四	二四八七
十一月	二二六四	二二六七

東京期米

限	後場寄	後場引
九月	二九一九	二九四[illegible]
十月	二五四九	二五五[illegible]
十一月	二三二六	二三一六

東京株式(短期)

銘柄	寄値	引値	高値	安値
東新	八九八〇	八九五〇	九〇〇〇	八九四〇
鐘新	五五六〇	五五二〇	五五八〇	五五二〇
五品	不申	不申	六四〇	六四〇
滿鐵新	不申	二七三〇	二七八〇	二七一〇

五十錢銀貨を廢止して 新しく補助貨幣鑄造?

銀安が續けば僞造の慣れ 大藏省が特殊合成金の研究

【東京特電三日發】我國の補助貨幣たる五十錢銀貨は大正八九年の銀相場昂騰時代に利に敏い一部支那人のため國外に持ち運ばれ續々鑄潰されたので、その取締りを嚴重にすると同時に銀貨幣を改鑄して含有分を減少すると共にその形態を縮小して

鑄潰し 防止をなし一面造幣局收入として一億數千萬圓の銀貨改鑄益金を生み出し其後この益金を基礎に農村振興特別會計法を設けその資金に充當した、然るに最近に於ける銀相場の暴落に伴ひ我五十錢銀貨は金本位制に依る補助貨なるがため其實質に對比し自然非常に高價なものとなつたので滿洲その他在住の支那奸商の中にはこれに眼をつけて安價なる銀材料を以てその僞造を行ひつゝあるものもある模樣で大連、奉天等においても既にその僞造銀貨發見の事實あり、出先の

我官憲 において十分これを警戒調査しては居るがこれをこの儘放置し且銀の低相場が永續するにおいては大仕掛けの僞造を計畫される恐れもあるので更にその對策を講ずべく大藏省でも考慮して居る、尤も我國の銀貨は頗る精巧なる機械に依りて鑄造されて居るものであるから今の處これを眞物と寸分違はぬように僞造する事は技術上甚だ困難で、僞造者としてもその手數の割合利益が尠からぬのでソウ

露骨に は行ひ得ぬものと見られて居るが、何れにしても純分比價の關係に徵しその可能性はある譯であるからこれに對し根本的の考慮をなす必要があるといはれて居る、現に我大藏省理財局造幣局などでも補助貨幣を銀によることは今日既に不適當であると云ふ議論が有力で、白銅貨その他の實績に鑑み或種の合成金屬によりてこれが鑄造をなし銀貨に換ゆるべく考慮し、目下專門家の手に依りてその實質的研究を行つてゐるから遠からず貨幣法の改正と共にその

實現を 見るに至るべくそれと同時に改鑄益金も相當生ずる筈であるから財源難の折柄好個の財源捻出の一方法として其實現に着手されるに至るであらうと(寫眞は廢止の運命にある五十錢銀貨)

デ盃兩選手 歡迎試合 二日旅順で

旅順ロオンテニス倶樂部及び體育研究所主催、滿日支社後援太田、安部デ盃兩選手歡迎庭球試合は二日午後四時から旅順博物館コートで擧行、觀衆五百名で盛會、太田對小館の試合に始まりかつては滿洲に覇を唱へた小館奮闘して面白い試合を見せ、殊に太田の强球、安部の美技に觀衆を醉はせ午後六時閉會、終つて千歳倶樂部で歡迎宴を張つた試合經過左の通り

▲シングルス
太田 六—三 六—三 小館
安部 六—三 六—二 木谷
▲ダブルス
安部 三—〇 小館
太田 六—一 木谷

?號の位置

【セント・ジョンス(ニューフアウンドランド)一日發電通】大西洋橫斷飛行の途に在る佛人コスト大尉操縱のクエスチョンマーク號はニューフアウンドランドを距る一千浬沖を飛翔中である

5A—1 失策續出して 長崎高商敗る 二日の對滿倶一回戰

滿倶對長崎高商第一回戰は二日午後四時五分より滿倶球場にて若瀬(球)安藤(兄)上原(壘)三氏審判のもとに長崎先攻で開始したが四、五兩回敵失に乘じて五點を擧げたるに反し長崎五回表一點を贏いしのみで五A對一で滿倶勝つ 閉戰五時五十分

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
滿得點	0	0	0	2	3	0	0	0	A	5A
長得點	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

經過

▲第一回 兩軍無爲 ▲第二回 長商永田右前單打に出でしのみ▲滿倶凡退 ▲第三回 長商釣川三壘右拔く單打に出でしのみで兩軍無爲 ▲第四回 長商三者凡退▲滿倶鈴田四球疋田の一壘線に沿ふバントを投手一壘に高投して生かし鈴田二三進疋田二進芥田の三ゴロに鈴田本壘を衝いたが挾殺され疋田三進芥田二進片岡投ゴロ中井四球で二死滿壘高須の二壘右拔く單打に疋田芥田還りこれを刺さんとして右翼永田本壘に遥投して中井二三進高須二進したが和田右飛 ▲第五回 長商小田部左前單打に出で岩瀬の投前バントに二進渡邊三振釣川の三前高投に小田部還り釣川二進久甫三飛▲滿倶藤枝中前單打に吉野の投前バントを一壘失して藤枝二三進吉野二進鈴田の三壘寄りバントで再び一壘失して藤枝還り吉野二進疋田三本間に挾殺鈴田三進芥田投飛片岡の遊ゴロ一失に鈴田疋田生還し中井三飛 ▲第六回 長商鮫島三遊間を拔く單打、滿倶藤枝投手足下を拔く單打ありしのみで兩軍凡退 ▲第七回 兩軍凡退 ▲第八回 長商三者凡退▲滿倶一死後高須四球に出でたが和田の遊飛に高須離壘して併殺 ▲第九回 長商山本四球永田中飛久慈左飛小田部三飛

(長商)

	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
3 久甫	4	0	0	0	0	0	0	3
2 鮫島	4	0	1	0	0	0	0	0
7 山本	2	0	0	0	0	0	2	0
9 永田	4	0	1	0	0	0	0	1
5 久慈	3	0	0	1	0	0	0	0
4 小田部	4	0	1	0	0	0	0	0
6 岩瀬	2	0	0	1	0	1	0	0
1 渡邊	3	0	0	0	0	1	0	1
8 釣川	3	0	1	0	0	1	0	0
計	29	1	4	2	0	3	2	5

(滿倶)

	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
6 吉野	4	0	0	0	0	1	0	0
4 鈴田	3	1	0	0	0	1	1	0
3 疋田	4	2	0	0	0	0	0	0
8 芥田	3	1	0	0	0	0	1	0
2 片岡	4	0	0	0	0	0	0	0
5 中井	2	0	0	0	0	0	2	1
7 高須	3	0	[illegible]	0	0	0	1	0
9 和田	4	0	0	0	0	1	0	0
1 藤枝	3	1	2	0	0	0	0	0
計	30	5	3	0	0	3	5	1

▲併殺 長商(岩瀬、久甫) ▲試合時間 一時間四十五分

戰評

▲滿倶藤枝を長商渡邊をマウンドさす、兩投手とも好投よく敵の健棒を封じたが遂に內野の凡失にそれぞれ得點を許す▲卽ち第四回の滿倶の得點は疋田の投前惡投に端を發し第五回の得點もまた吉野の投前一失に因す、この回長商一壘久甫の連續三失は滿倶に三點を與へて遂に今日の敗因をなしたもした▲又長商の得たる第五回の一點は二死後釣川の三壘ゴロを中井たやすしと思ひし心のゆるみから生れ出た一壘高投に因を發して與へたものである實業を苦戰せしめた長商奈邊まで滿倶に食ひ入るかと云ふ興味も長商一壘の凡失によつてすでに前半で失せた觀があつた

滿洲の郵貯利下 來十月から實施

二日關東廳に通牒

關東廳遞信局の郵便貯金値下げは十月一日より左記の通り變更實施さるゝ旨關東廳に通牒があつた ▲普通貯金(現行五分四毛を四分四毛に) ▲据置貯金(現行五分二厘八毛を四分六厘八毛に) 尙右は改正勅令の公布を待ち實施さるゝこととなるのであるが、發布前の据置貯金も改正後は新利率を適用する由

預金部利率引下

井上藏相閣議に報告

【東京二日發電通】二日の定例閣議において井上藏相より預金部資金利率引下げに關し報告したる內容左の如し

一、郵便貯金利子四分二厘に引下げの場合には預金部の內地地方低利資金貸付利率は原則として年四分二厘に引下げる、右引下げは郵便貯金利下げ實施後の貸付(既に預金部運用委員會の決議を經たるものにして未だ貸付未濟の分を含む)のみに適用して貸付濟みのものに及ぼさず

二、地方資金現在貸付利率年四分八厘を越ゆるものは既に貸付濟みのものと雖もこの際特に引下ぐ、但し銀行固有財資金と混合經理せるものは除外す卽ち(イ)普通資金の分は四分八厘迄引下ぐ(ロ)復興貯蓄債券收入金の部は五分五厘迄引下ぐ

三、植民地における郵便貯金利子年四分四厘四毛に引下げられる場合には植民地に對する預金部の地方資金貸付利率は原則として四分五厘に引下ぐ、貸付濟みのものにして四分五厘を越ゆるものはこの際特に五分一厘迄引下ぐ

四、前記各項の實行については預金部運用委員會の議を經るを要する

雪崩れ込んで 濟通丸臨檢

理不盡な天津警備司令部員 海關捜査隊が停船を命じて 早速、嚴重に抗議す

天津稅關長シンプソン氏が八月二十六日附サーキユラーを以て各國汽船會社および船長に對し海關捜查隊なるものを新設し今後時宜に應じ白河上下の船舶に對し航行を停止又は徐行を命ずるやも測り難しと通告したるは既報の如くであるが、船會社方面ではその不法で理不盡極まる

通告に 對して紛糾を見たるが、上述な措置を講ずる事となつてゐた、しかるに三日當地船會社への情報によると大汽の天津航路濟通丸は二日白河を遡航中、突然天津警備司令部員並びに前記海關捜查隊員より停船を命ぜられしかもドカ〳〵と乘込まれ種々船內の臨檢を受けたが、別に大した事故とては幸ひ惹起しなかつたが、かゝる理不盡な

行爲を なすは面白からずとなし直にこの旨を報告して來たものである、目下大汽天津支店は日本領事館と協議のうへ嚴重なる抗議をなしたが重大化する模樣であると

歐洲遠征の最後戰

日波陸上競技の成績

【ワルソー二日發電通】日本學生陸上選手歐洲遠征最後の對ポーランド陸上競技會は二日當地で擧行された、成績左の如し

▲百米 一着シコルスキー(十一秒)二着トロヤノウスキー(十一秒一)三着中島亥太郎(十一秒一)四着佐々木吉藏
▲百十米障碍 一着藤田辰三(十六秒〇)二着織田幹雄(十六秒五)
▲三段跳 一等織田幹雄(十四米五五)二等西田修平(十三米六五)
▲走高跳 一等木村一夫(一米八五)二等織田幹雄(一米八〇)三等メイロ(住吉は一米六〇で七位)
▲走巾跳 一等大島謙吉(六米九〇)二等織田幹雄(六米七五)三等ソビーレイ(六米四三)
▲棒高跳 一等西田修平(三米八〇)二等織田幹雄(三米七〇)三等アタムチツヤク(三米七〇)
▲八百米 一着レシツニ(二分二秒七)二着ナスツエウスキー(二分〇秒七)三着メンドルチキ(二分三秒七)(矢柴はスタート後棄權し)
▲槍投 一等伊藤金太郎(五十八米〇三)
▲四百米 一着西貞一(五十三秒九)二着ミユエラー(五十四秒)三着ノワコウスキー(五十四秒八)
▲一萬米 一着クソシンスキー(三十九分〇秒八)日本選手參加せず
▲砲丸投 一等ヘルヤツ(十三米四〇)二等フバラン(十二米六四)三等吉澤宗吉(十二米三七)
▲圓盤投 一等バロン(四十米四七)二等ヘルヤツ(四十米四四)日本選手不參加

旅順戰蹟弔慰團

約二百名參加せん

三日夜旅順案子山及び椅子山にて擧行される戰蹟弔慰團に際し夕飯迄にて大連在鄉軍人分會長は松樹山第四砲臺における特別支隊卽ち中村少將の率ゆる有名な白襷隊の奮戰情況を說明することゝなつた、尙篝火を焚いて弔慰後の講話者は關東軍司令部より參謀新井步兵大尉が行ふことゝなつた、因に二日正午迄の參加申込者は一般市民二十一名、各學校及び官吏十五名、在鄉軍人四十名、合計百十六名なるが約二百名迄なる見込の由

教育會幹事會 勅語記念日協議

南滿洲教育會幹事會は二日午前十時より關東廳會議室において開會三浦會長、御影池學務課長、長尾視學官、香川視學其他滿鐵より栗野學務課長、生田、大久保視學等出席の上今秋十月三十日の勅語渙發四十年記念の件につき審議したが記念事業としては記念教育論文の懸賞募集及び講演會、ラヂオ放送等を實施すること、總會は九月二十八日奉天春日小學校にて開催することに決定正午閉會した

海軍機墜落 搭乘者負傷す

【大村三日發電通】大村航空隊三等航空兵曹前田丹三(二三)は二日午前單獨飛行訓練中、竹松村海岸を距る二百米突の海中に墜落機體を大破し兵曹は頭部顏面に負傷した

浦鹽鮮銀支店 閉鎖せぬ?

【ハルビン特電二日發】浦鹽について經崎鮮銀ハルビン支店長よりの報によれば「ロシヤ官憲の帳簿檢査は續行中であるが支店を閉鎖するが如き結果とはならないから安心して從來の如くせよ」とあり今のところ樂觀されてゐる

秋のサロン 幕開く 二科、美術展

【東京三日發電通】美術の秋に魁けて上野公園美術館では二科會、日本美術院が三日を招待日として一齊にサロンの幕を上げた、院展とも午前中は約四千の入場者を集め深刻な不景氣も此處ばかりは別天地の感がある、この展覽會の外に同じ館內に構造社展と青龍展が二日から開かれ、構造社は例によつて同人の綜合美術の粹を見せ、青龍展は全出品點數二十四點と數においては比較にならぬが川端龍子氏の力作を始め珠玉の樣な作品を列べ嚴然たる勢力を示してゐる

話題の中心

今度出來た森永ベルトラインストアーの宣傳にわざ〳〵東京から、單身やつて來た明眸皓齒、すばらしいモダンなマネキン南かほる孃それが又とてもすばらしい愛嬌で皆樣にお目見得しようといふので、今大連の人々の話題の中心になつてゐます。皆樣おさそひ合せて是非おいで下さい、所は大山通り林洋行、時は本夜午後七時より(御買上の方樣には粗品進呈)

大掃除

大連署管內は十日から開始

大連署では來る十日から清潔方法を施行するが檢查日割は左の通りである、尙指定期日までに施行し難きものはその事由を具申し所轄警察署、村落に在つては所轄警官派出所の承認を受けて貰ひたいと

▲十日大連驛、北公園、濱町、日本橋各警察官派出所管內▲十一日浪速町、美濃町、奥町、西廣場各警察官派出所管內▲十二日敷島廣場、土佐町、山縣通、寺內通警察官派出所管內▲十三日汐見町、山手町、千代田町、大和町各警察官派出所管內▲十五日楓町、神明町、播磨町、若狹町、逢坂町各警察官派出所管內▲十六日常盤橋、近江町、西公園町、初音町、桃源臺各警察官派出所管內 寺兒溝、石道街、老虎灘、馬欄子、沙河口、霞町、大房身、柳樹屯、甘井子、革鎮堡各派出所管內は十日より十六日まで各派出所に於て適宜定める事になつてゐると

十三萬圓着服 竹下前代議士等

【東京二日發電通】昨年四月解散を命ぜられた日之出銀行の整理から同社長前代議士竹下文隆氏(五七)の背任事件が發覺し警視廳が取調べを進めると更に前取締役瀨川吉次氏(五七)も橫領の事實を摘發されたら川氏は流れかゝつた起業銀行救濟のためこれを日之出に合併してやるから日之出に十六萬圓出せと稱して起業銀行から十六萬圓を引出し十三萬圓を着服したものである

內滿選拔野球戰(第一日)

松山商業—大連商業

けふ午後四時から實業球場で

會券 二圓、一圓、五十錢(三日間共通) 八十錢、四十錢、二十錢(一回券)

おらが大連の成長を語る(4)

女探偵殺しの噂さに 虐まれた虎公の話

今はモボやモガの自由の天地 中央公園の變遷史

面積三十二萬坪、現在では大連市民唯一の遊歩地である中央公園の古木に聽く二十五年間の變遷を聞けば面白い話が語られるだらう。

◇……◇

中央公園の所在地はもとく青泥窪の村落のあつたところ、二百年前から若干の民家はあつた、露人はこゝに植物園と農事試驗所を設けやうと立退料をやつて百姓部落を老虎灘方面に移しスラヴ式獨特の大綱工な設計で公園設備をなした、今こそ大雨の後一時間か二時間濁流滔々…平常は赤い土塊がゴロ〳〵と間の拔けた川底を見せてゐる、名だけ床しいダルニー川も當時は割に水があつて兵士等が川水で風呂を沸して體を洗ひ落したものである、當時菫を大分植えたらしく四月下旬底地は一夜にして紫色に裝ひ自然に惠まれぬ人々の心を慰めた。

◇……◇

今は人に忘れられた樣な不景氣な檻に小汚い熊が物憂さうに這ひ廻つてゐるがこの檻にこそ問題の虎公がゐたので虎公園の緣起物語は眞紅の女性の血で色塗られて內地の隅々まで知れわたつたものだ。然し事實はそんなことがあつたのでなく、當初この虎は奉天總督增祺將軍から時の露國極東太守アレキシエフ氏に獻じたもので、ア氏がそれをダルニー市に下附してからこゝに檻を造つて入れ、市民の慰みとなつてゐたものである

◇……◇

その後ダルニー市が我軍の手に移つて虎公も相變らず元氣でゐたが何時の間にか我が若き女性が軍事探偵の嫌疑を受けて虎の檻に入れられ衆人環視の中で噬殺された等といふ話が流布されたものだから虎は我軍兵士や一般人から隨分虐められて投げた石塊や木片等で檻の中は山積したといふ程だ、可愛さうに身に知らぬ罪を着せられて毎日々々虎公は鐵檻にシガみついてくやし泣きに吼てゐたが、その聲が餘り悲慘だ、また萬一怒り狂つた虎がどんな間違ひを起すかも知れぬといふ心配から皇軍のダルニー善後整理委員會から虎に手出しすることを禁じた

◇……◇

それでも日に日に虎は瘦つてしまつて何も食はず吼て許りゐるのでロシヤ時代に世話係であつた支那人を探し廻つた、漸く見付け出して虎の前に連れて來た時の情景は全くセンチメンタルなもので、久し振りで飼主に會つた虎は如何にも懷しげに支那人が檻の中に入つて綺麗に掃除してやつたり、肉をやれば嬉しさうに支那人の手をなめて溫順しく言ふことをきくのをみて、猛獸にもこの情愛があるかと感じたほどだといふ

◇……◇

その後管理が民政署に移つてから飼養費が月二百圓もかゝり當時の貧乏な財政で持て餘してゐたが間も無くコロリと死んでしまつた剝製されて常盤小學校に保存されてゐるのがその虎公である

◇……◇

公園の名も虎公園から西公園にまた今は中央公園とモダンな名前に變つて、年々改良されて行き、遊覽道路の小暗い綱蔭の樹陰ではモボ、モガのランデブーが演出されて時、所なきエロシーンに棒の蔭も「あらハイスピードだわ」と吃驚する程だが、その傍らの枝を張り出した老樹は過ぎた日當藏の志破れた男が次々と鼻を垂れて首吊つて死んでいつた五人の靈を想ひ泛べて苦笑してゐるだらう【寫眞は懷しい飼主に會つた虎】

北寧線夜間運轉一部休止

七月十七日以降水害不通であつた北寧線は二十九日漸く開通したが未だ夜間運轉危險のため奉天、北平間に一〇一、一〇二列車、奉天山海關間に一〇三、一〇四列車の各一往復のみ直通運轉しその他の列車は運轉を休止すると

蟹工船々長ら三名拘引さる ロシヤ官憲に

【ウナラスカ(アラスカ)二日發電通】二日當地に入港した國際蟹工船會社所有トロール船國際丸(二五九噸)の船長本田氏以下高級船員三名は當地官憲に拘引された、右は同船がアメリカ領海內で魚を取つたといふ嫌疑に基く者である

撫松縣公安隊兵逃げ出す

【奉天特電三日發】當地に達した情報によると撫松縣の公安隊百七十名逃亡し附近の小馬賊團と合して金川縣政府を襲擊せんとしたので、魏知事は保甲團及び巡警多數を出動せしめ嚴重警戒中であると

鳥居博士夫妻 蒙古入り

過般來滿せる鳥居龍藏博士夫妻は遼陽、普蘭店方面の考古學的調査を遂げ歸連せるが三日朝發、奉天に赴き鄭家屯より內蒙古に入り蒙古の史實および考古研究に畢生の努力を傾注するとのことである

長春丸のアットホーム盛況

新船長春丸はいよ〳〵三日上海航路に就くこととなつたが、披露のため二日午後二時から開かれたアットホームには官民約一千名の參觀あり、デッキにおける模擬店では美妓のサーヴィスで一同歡を盡した、午後五時ごろ仙石滿鐵總裁と大平副總裁が打ちつれて參觀し總裁は「立派な船だナ」と賞めながら船內を巡覽、三十分後歸る、斯くて盛況裡に午後六時閉會した

水害義捐協議

關東廳では二日午前十時第一應接室にて三浦內務局長以下各課長列席の上諸般の九州地方水害義捐金募集に關する協議を遂げた

晩香坡でラグビー軍快勝

【ヴアンクーヴアー一日發電通】カナダ遠征日本ラグビーチームは一日當地でヴアンクーヴアー選拔チームと一回戰を行ひ二十二對十八で日本チーム快勝

滿電バス畑中に突入す

三日午前十一時旅順發滿電バス六〇三號が乘客六名を乘せ嶺前屯管內郭家屯部落旅大道路に差掛つた際、前方より二名の支那人が自轉車で疾走せるに遭ひ直に急停車したが間に合はず道路傍の畑へ突入し約三間にして辛うじて停車した、前記支那人の中一名は頭部及右腕に擦過傷を蒙り足首を挫折し、直に關東廳病院に收容されたが幸ひ乘客には被害なし

德山氏運命判斷

新進手相運命判斷家德山昇道氏は二日來連、恩田熊壽郎、西片朝三氏等の後援により今三日より一週間市內吉野町山岡旅館にて一般希望者の鑑定に應ずると、料金二圓

移動帝國美術展

帝國美術協會にては來る五、六日二日間午前八時より午後六時まで大連商工會議所にて移動展覽會を開き東京派大家の作品を實費で頒つと

津野田氏逝去

【東京二日發電通】元代議士陸軍少將津野田是重氏は二日午後零時四十五分澁谷町宇田川の自邸で逝去した

海の唄『四三』

仲木貞一作　一木淳畫

手紙のぬし（十五）

◇ヴアラエテイ

ジヤズ・ダンス――くちづけ！

急に舞臺が明るくなつたので、和雄は顏を上げると、プログラムが、こんな見出しで貼出してあつた。

和雄は直ぐ、先刻、月枝から貰つたプロを見た。

最上千夜子、室町龍子といふ順で出演者の名が書いてあつた。

忽ちけたゝましい開幕の鳴鈴が鳴つた。するくと輕く開幕されていくと、レヴユーガールの薄桃色の肌が、綠と菫色の强い面も五に交錯する照明の中に、天女の如く踊り狂ふ儀態が展開された。

ジヤズに合せたステツプの響きが和雄の心に何か知れない永遠の謎をまき散らした。

而も踊りながら、時々、月枝の輕い甘い笑つた視線が、和雄の方に向けられる時

和雄は限りない幻想に醉ふのだつた。

「あゝも美しい女に離るものかしら……」

甘い魅を含んだ彼女たちの肉體からまき散らされた餘香に、醉はされた男の悲哀である。

「今夜、どうしても一緒に踊らう。さうして、若し月枝が、自分と同樣してくれるなら、永久にそれを誓つてもいゝ……」

和雄は徐に自分に云つてみた。そして、勢ひに過ぎて昂奮の世界に飛び込んで行つた時のやうな情熱を堅く胸に抱きしめた。

それから十分と經たないうちにそのダンスは終つて、月枝は例の黑のオーバーに深く襟足を埋めて和雄のゐる二階へ上つて來た。

「どうも、お待ち遠さま！出かけない？」

月枝の視線は、無言のうちに斯う呼びかけてゐた。

和雄は、この舞臺に、いろくの意識に富んだ場面が見出されるので、もう少し見てゐたいと思つたが、月枝の促すまゝに階段を下りて、街頭へ出た。

射るやうな月の光が、公園の樹間を透して二人の襟合ひから贈らしてゐる。

もう十一時も晩いのと、寒さとで、公園は餘り人通りもない。だんく歩いて來ると、方々の活動館がハネて、そこへ勤めてゐる人達が一かたまりになつて、時々、笑聲が騷々に聳え上るのが聞えた

「どう？オリエントでも、マンハツタンでも飲んで行かない？寒いから……」

電車通りへ出ると、月枝は然う云つて和雄を見た。

「然し、もう遲いから……」

「いゝぢやないの。圓タクが預…な程あるんですもの！私、今日、月給を前借りして來たの。だから御心配なく……」

前借りと聞いて、和雄は一寸意外に思つた。

「ね、一杯やつて行かない。これぢや寒くつて仕方ないもの……」

カフエーオリエントの前まで來ると、月枝は、和雄のマントの端を掴んで歩かせなかつた。

「いらつしやいませ！」

女給たちの愛想よい聲が一度に湧き起つた。

テーブルに着くと、月枝は訊ねた。

「どう、さつきの私のステツプ……？」

と、云つて、和雄の横顏を覗いた。

「素的でした。第一照明がいゝからステーヂが榮ますねえ」

と、和雄は初めて聞るやうな笑ひをした。

「サンキユー。貴方だけよ、さう云つてくれるのは……」

と、云ひながら、和雄に握手を求めた。温かい感觸が電光のやうに和雄の心を叩いた。

オリエントで、二人は二三杯づゝカクテールを飲むと、間もなく外へ出て圓タクを呼び止めた。そして月枝は先に飛び乘つた。

和雄が這入つてくるのを待ち兼ねるやうに、和雄の兩手を引つ掴んで、自分の横にかけさせた。

「私、とてもいゝ氣持だわ……」

月枝の腕が、蛇のやうに和雄の首に捲きついてゐた。